

DENKO

大阪経済大学同窓会通信

経大人のための情報誌

激江

2006年 42号

—特集—

変わる経大、進化する教育

学びのフィールド、ますます広がる／キャリア教育／
キャンパスライフ／さらに変わる経大へ

同窓会って何ですか？

同窓生2世代対談
活躍する女性たち

石井福祉会「さくら保育園」園長 清重 弘子氏(昭和49年経営学部卒)
兵庫県立伊川谷高等学校 教諭 松岡麻起子氏(平成8年経営学部卒)

ズームアップ！経済人



特集

変わる経大、進化する教育

21世紀社会が
求める人材を輩出する
社会・人文系の
総合大学へ—



経営情報学部 ビジネス情報学科 開設
経営情報学部 ファイナンス学科 開設

2005

経営学部 ビジネス法学科 開設

2004

経済学部 地域政策学科 開設
人間科学部 人間科学科 開設

2002

創立70周年
新生大阪経済大学
「改革元年」

MESSAGE

同窓生の皆様へ

同窓会会長

中平 秀覧



全国各地でご活躍中の同窓生の皆さまには、恙無くお過ごしのこととお喜び申し上げます。
平素は同窓会活動にご支援、ご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、この激江の特別企画でお伝えしておりますように、母校・大阪経済大学は今、大きく進化し、生まれ変わろうとしております。
すなわち、2006年度からの第二次中期計画で学部・学科の再編と統合を検討しつつ、経済・経営系の伝統を生かした社会・人文系の総合大学作りを目指し、また大学の安全・

安心で快適な学園環境作りを目指して、学生団体との対応にも積極的に取り組んでおります。
こうした大学運営に欠くことのできないのが、同窓会の役割であるかと確信しております。
と申しますのは、少子化とともに訪れた大学全入時代の到来で、昨今の大学におきましても、同窓会活動の主流が学校支援という方向にあります。つまり母校あつての同窓会であり、母校なくして同窓会の存在はないという危機感がそうさせているのです。

私も同窓会でも、入口・出口論で申し上げておりますように、一人でも多くの学生を経大へ送り込む方策と、一般社会へ巣立つ学生を受け入れる側での支援に注力し、母校の評価がより一層高まるよう行動しよう運動を展開中であります。
このため大学と同窓会がより意思疎通を図り、一致団結してより効果的な活動を展開したいと考えておりますので、これからも一段のご支援をお願いしたいと思っております。最後に同窓生各位の一層のご健勝をお祈り申し上げます。

CONTENTS

- 2 特集 変わる経大、進化する教育
- 3 学びのフィールド、ますます広がる
- 5 キャリア教育 7 キャンパスライフ
- 9 さらに変わる経大へ
- 10 支部便り 全国支部からのお知らせ
- 20 OB NETWORK
同期生OB会、クラブOB会、ゼミOB会から
- 29 ゼミ短信 先生方からのメッセージ
- 33 Q&A 同窓会ってなんですか？

- 35 理事会報告
- 36 本部だより
- 37 事務局だより

- 38 2世代対談 活躍する女性たち
さくら保育園 園長 兵庫県立伊川谷高等学校 教諭
清重 弘子氏 × 松岡 麻起子氏

- 41 ズームアップ！ 経大人
- 41 中島 正博氏 (38回卒)
- 41 大伴 國泰氏 (35回卒)

- 43 苗代 壽子氏 (14回卒)
- 43 太田 一澄氏 (17回卒)
- 44 永原 康男氏 (19回卒)
- 44 荒木 登久次氏 (23回卒)
- 45 山形 武氏 (25回卒)
- 45 正村 公一氏 (27回卒)
- 46 新田 和弘氏 (32回卒)

- 46 2006年イベントピックアップ
- 46 パソコン教室
- 46 福井支部40周年記念に本学を見学

学

びのフィールド、
ますます広がる。

単科大学から社会・人文系の総合大学へ。
時代のニーズに応えた大改革。

本学は、1932年浪華高等商業学校として発
足以来、経済・経営系の単科大学として発展してき
ました。

最近では新たに人間科学部を設置するなど、社

会・人文系の総合大学としての発展を目指してい
ます。

学びの領域が広がることで、社会の多様な領域
で貢献できる人材の育成を目指しています



経済学部

経済学科
ヒト・モノ・カネの流れを
ダイナミックにとらえ、
豊かな社会を追求します。

地域政策学科

フィールドワーク主体で
地域社会を元気にする
様々な施策を学びます。

経営学部

経営学科
企業社会をリードする
ビジネスマンに必須の
理論と実践力を培います。

ビジネス法学科

「法律」と「経営」の両輪で
法律に強い企業人から
法曹までを育成します。

第二部経営学科

実践的な完全自由選択制
カリキュラムで、柔軟な
学習ニーズに対応します。

経営情報学部

ビジネス情報学科
情報社会に求められる
高度な「経営」と「IT」の
理論・スキルを学びます。

人間科学部

ファイナンス学科
金融・証券で活躍できる
ファイナンスの
専門家を育成します。

人間科学部

心・体・アート・文化…
多彩な切り口で「人間」を
科学的に追求します。

2005年4月、金融と証券の中心地に開設。

北浜キャンパス 社会人大学院

大阪経済大学北浜キャンパス
社会人大学院のポイント！

大阪経済大学北浜キャンパス大学院は、ビジネスの
中心地「北浜」にキャンパスを置き、社会人対象に「基
礎」から「専門・実践」までの講義を幅広く提供してい
ます。本学教員による理論的な研究や、実業界で活躍
する実務家講師による実践的な講義、目的意識の高い
学生同士の交流などを通して、ビジネスに必要な知識、
ノウハウなどを身につけていきます。

北浜土曜講座

- 経済学入門
～今さら人に聞けない経済学の基礎知識～
- ファシリテーション入門
- 日本の産業界研究
- ビジネス法学入門
- 人間の実学講座
- 経営学入門
- イタリア文化入門
- アジア文化入門
- 先端産業論Ⅰ
- 先端産業論Ⅱ



実社会に通用する高度な理論と
徹底した実務教育を展開する
社会人大学院。

ビジネスの中心地にキャンパスを置く、大阪経済
大学北浜キャンパス。ここでは社会人を対象に、ビジ
ネスに必要な知識や問題解決のノウハウを体系的に
学ぶことができる社会人大学並びに大学院を開講し
ています。金融の中枢、北浜という立地を最大限に生
かした産学交流プロジェクトとして、経済・経営学部
出身者に限らず広く社会人学生を募集し、「基礎」か
ら「専門・実践」までを体系的に学べるカリキュラム
を展開。レクチャーとディスカッションをバランス
よく取り入れた講義スタイルや、企業で活躍する実
務家を講師に招いた実践的科目を用意するなど、”
実学の大経大”を実践する講義は、実社会で活躍し
ている社会人からも高く評価されています。

アフター5に学べる
「イブニングスクール」や
毎週土曜日の公開講座も開講。

現在、社会人大学院には、一般企業の幹部並びに
幹部候補生、企業経営者、税理士志望など多種多様な
社会人の方々がお集まりしています。また経営学部第二
部の3年次編入生向けの「経大イブニングスクール」
を開講し、過去に短大や専門学校を卒業された方な
どのキャリアアップをサポート。学費が安く、仕事と
の両立が可能な場所にあることで、多くの社会人の
ニーズに応えています。

さらに北浜キャンパスでは「社会に開かれた大学」
を目指し、毎週土曜日に社会人の方を対象とした公
開講座を開講しています。経済、経営の基礎知識か
ら、ファシリテーション、外国文化にいたるまでの幅
広い教養を提供すると共に、日常では出会えない異
業種交流も大きな魅力のひとつです。

みみより
トピックス

経大生の出身高校ランキングは？

在学生（学部生）の出身高校ランキングです。（2006年8月現在）

1位 上宮高等学校 (大阪)	83人	11位 大阪高等学校 (大阪)	48人	19位 神戸市立神港高等学校 (兵庫)	35人
2位 浪速高等学校 (大阪)	62人	12位 兵庫県立川西明峰高等学校 (兵庫)	43人	22位 大阪府立渋谷高等学校 (大阪)	34人
3位 報徳学園高等学校 (兵庫)	59人	13位 大阪府立東豊中高等学校 (大阪)	40人	23位 阪南大学高等学校 (大阪)	33人
4位 大阪学芸高等学校 (大阪)	58人	13位 大阪府立少路高等学校 (大阪)	40人	23位 大阪学院大学高等学校 (大阪)	33人
5位 履正社高等学校 (大阪)	54人	15位 奈良県立富雄高等学校 (奈良)	38人	23位 兵庫県立猪名川高等学校 (兵庫)	33人
6位 大商学園高等学校 (大阪)	53人	16位 大阪府立東淀川高等学校 (大阪)	37人	23位 伊丹市立伊丹高等学校 (兵庫)	33人
6位 大阪府立摂津高等学校 (大阪)	53人	16位 大阪府立初芝高等学校 (大阪)	37人	27位 大阪青凌高等学校 (大阪)	32人
8位 北陽高等学校 (大阪)	51人	18位 兵庫県立西宮今津高等学校 (兵庫)	36人	28位 尼崎市立尼崎高等学校 (兵庫)	31人
9位 摂津高等学校 (大阪)	49人	19位 兵庫県立三田西陵高等学校 (兵庫)	35人	28位 大阪市立東高等学校 (大阪)	31人
9位 大阪府立吹田東高等学校 (大阪)	49人	19位 神戸市立兵庫商業高等学校 (兵庫)	35人	28位 清風高等学校 (大阪)	31人

● 変わる経大を語る

社会・人文系の
総合大学をめざして。

学長 重森 曉



本学は、創立70周年をむかえた2002年を
「改革元年」と位置づけ、さまざまな事業に取り
組んできました。2002年には人間科学部と
経済学部地域政策学科、2004年には経営学
部にビジネス法学科が新設され、2005年
には経営情報学部がビジネス情報学科とファイ
ナンス学科に分けられました。この間、すべての学
部に大学院（修士課程）が設けられ、2005年
には、大阪証券取引所ビル内に北浜キャンパス
（社会人大学院）が開設されました。

このように、本学は、経済・経営系の単科大学
としての伝統を生かしながら、さらに幅をひろ
げて、社会・人文系の総合大学としての陣容をそ
なえつつあります。第二次中期計画（2006～
2008年度）では、ビジネス法学科を改組して、
法律系の新学部を創設することを謳っており、
それにむけて2007年度には経営学部65名の
学生入学定員増を行います。

大阪経済大学は、社会・人文系の都市型総合大
学としての飛躍をめざしています。

キ

ヤリ

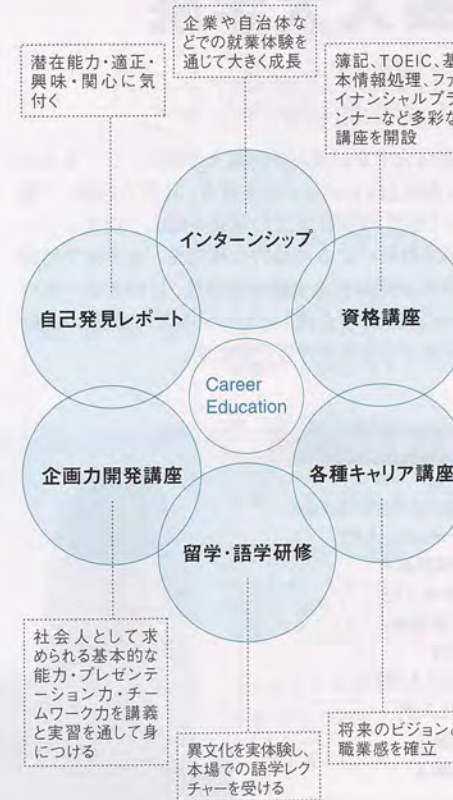
ア教育。

入学時から「就職力」を磨く：
キャリア教育は現代のカリキュラムに欠かせない。

就職活動をしていない、内定が取れないという学生の父兄からの相談が増え始めて数年がたちます。そういった学生に共通する特徴として、1. 就労の意思が希薄、2. 就職活動の方法に問題があるという2点が上げられます。後者につきましては、何がしかのヒントを学生に与えることで自ら内定を獲得することができそうですが、前者については、4年生になってからにわかに意欲を持たせることは、難しいのが現状です。そこで進路支援センターでは、平成16年より低学年からのキャリア教育を実施しています。また、エクステンションセンターでも、

就職に関する講座を設け、合わせて学生のキャリア形成支援を実施しています。そして最も就労意欲を向上させる効果の有るインターンシップは、開講から9年を経て今では、対象学年の約30%が受講し、2000を超える企業や自治体へ450名超の学生を派遣するに至り、全国レベルでもトップクラスの位置を占めるまで成長しました。

人生の目標を持つことの大切さや必要性をメインに、将来のビジョンと職業観を確立させるキャリア教育は、今後これらの中心となるべきものと考えています。



“就職に強い大経大”の
評判をさらに強く。

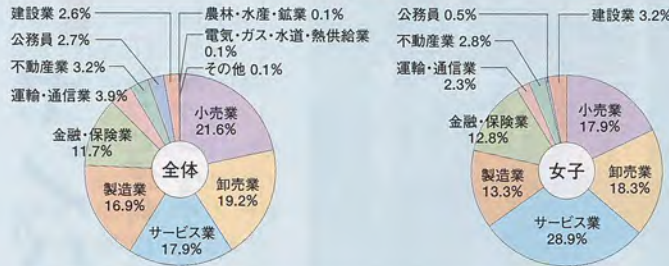
大経大の就職支援業務のベースには、個人面談の徹底があります。長期的・継続的に行う学生とスタッフの1対1の面談を軸として、各種ガイダンス、筆記試験・面接対策、学内マッチングセミナー、業界研究会など就職活動のプロセスに於いた指導を展開しているのです。そこへ持ってきて近年は、表題にあるように低学年時から将来のビジョンと職業観を確立させるべく正課授業として行っているキャリア教育を実施しています。

一方、正課外ですがキャリア教育に付随するユニークな取り組みとして学内マッチングセミナーに低学年次生の参加を促しています。これは低学年次生が、企業採用担当者や上級生たちの質疑を目的とするもので、早い段階から就職への意識をもち、学習並びに学園生活の目的を明確にするねらいがあります。さらに内定の決まった4年生が12月の一ヶ月間、学生アドバイザーとして3年生の指導に当たる制度を今年から実施していますが、上級生のアドバイスはリアリティがあり、体験談も含めて相談に乗ってもらえると好評です。社会的問題となっているフリーター対策としては、電話やがきによる頻繁な問い合わせを行い進路把握率の向上につとめることを通して対処しています。その中で進路未定者には企業の紹介はむしろ不安で揺れ動く学生の心理的ケアを意図した個別相談を実施しています。進路支援センター一同は、すべての学生から「大経大に入学してよかった」と言ってもらえるよう、面倒見のよいセンターを目指し日々努力しているところです。

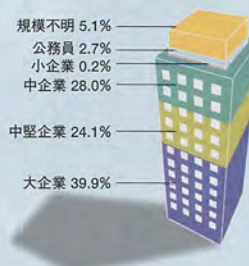
進路支援センター 就職課長 藤原 広太郎

ちかごろの経大生は、 どんな企業に就職しているのでしょうか？

業種別就職状況



規模別就職状況



主な就職先一覧 (2003~2005年度)

- 農林・水産・鉱業 ニチロ
- 建設業 ●石炭建設 栗本建設工業 前田道路 ●穴吹工務店 ●住友林業 ●積水ハウス 大和ハウス工業 パナホーム 新菱冷熱工業 太平電業 ダイダイン 明星工業 日本電通
- 製造業 伊藤園 エスフーズ 加ト吉 近畿コカ・コーラボリテック ●キンレイ グリコ食品工業 佐藤食品工業 三栄源エフ・エフ・アイ 仙波糖化工業 第一屋製パン ●日清シスコ 日本食研 日本製粉 日本酪農協同 三笠コカ・コーラボリテック 雪国まいたけ カネボウ ●グンゼ トヨタ紡織 フジックス ●川本産業 ●三陽商会 ●ジャヴァグループ ●ジュン ●澁本 ●ブルーミング 中西 ラビナス ロマンズ小杉 永大産業 クリナップ サンウエーブ工業 タカラスタンダード フランスベッド ●王子チヨダコンテナ ●東洋テックス ナカバヤシ 福助工業 丸住製紙 ぎょうせい サイネックス プロトコーポレーション 北園新聞社 大阪シーリング印刷 科研製薬 協和醸造工業 協和メテックス ●三和化学研究所 大鵬薬品工業 山辺製薬 バイエル薬品 マルホ 持田製薬 わかもと製薬 ●コーセー ●コタ ●マックスファクトリー アライ工業 川上塗料 サカタインクス ●四国化成工業 東邦化学工業 白元 北興化学工業 共和 東洋ゴム工業 十川コム バンドー化学 黒崎播磨 神島化学工業 ダントー ノザワ 大同特殊鋼 日本精線 三協アルミニウム工業 新日軽 不二サッシ モリテックスチール AIHO ●アルインコ SMC ●ニシエ工業 三和シャッター工業 THK トステム ●ナカ工業 ノリツ フルサト工業 文化シャッター 前澤給装工業 マルゼン ●ミカド リンナイ オカダアイオン トーヨーエテック 不二越 カワタ 川本製作所 JUKI スキモノマシン セイサ セガ 大和冷機工業 中西製作所 ナムコ ニッセイ ●富士ゼロックス マキタ ユーシン精機 千代田インテグレ デジタル アイホン ニッタン ●ローム ●オプテックス 帝国電機製作所 日本光電工業 ●日本電産 富士通 愛三工業 アイシン・エイダブリュ 機東開発工業 ショウワ 本田技研工業 アマノ シヤチハタ テルモ マイクロンジャパン ムトーテクノサービス 大倉工業 ●北川工業 ケイスク タイガースポリマー タカギセイコー 天昇電気工業 東リ ●フクビ化学工業 前澤化成工業
- 卸売業 ●岩谷産業 新興産業 ドウシヤ 日通商事 日立ハイテクロジクス アルワイフードサービス ●飯田グループ エコトレーディング ●尾家産業 国分産業 関西ビバレッジサービス キーコーヒー 国分ショクフン 東海製粉 トーヨー ハウスレイ ヤマエタケ 山星屋 ●横浜冷凍 ●おちゃん本舗 アスワン アビサーク 市田 ウライ ●オナワード煙草 ●三共興 山星屋 ●GSJクレオス ●ツカモトコーポレーション トキアパレル ●ムーンバート ワールドあらた クラサ三星堂 ●ケイエスケー コバシヨウ ●シャネル スズケン ニプロファーマ ●日本オルガン ●ピップフロンツ 上原成商事 シナネン 北恵小泉産業 ジャパン建材 ●通商 ナイス 小林産業 サステック 阪和工材 日立金属アドメット 渡辺パイプ 英和 ●杉本商事 月星商事 橋本興業 ●日伝ヤンマー農機関西 リョービ販売 ウキタ ●ダイワボウ情報システム 因幡電機産業 キヤノンシステムソリューションズ 新光商事 泉州電業 高千穂電気 ●竹菱電機 ●福島電機 三菱電機ライフネットワーク ミロク情報サービス 八洲電機 ユニダックス リコーテック ノンシステムズ オートバックセブ ●ガリバーインターナショナル コンドーテック 矢崎総業 ●丸東産業 アルゼ エプソン販売 キヤノンシステムアンドサポート ジャクエツ 電響社 パンプレスト アークランドサカモト アシックス 貝印 旭洋紙パルプ ●国際紙パルプ商事 ダイワラダ工業 タカショー 中山福 日本紙通商 ●バカラパシフィック ●服部紙商事 本間ゴルフ 丸紅紙パルプ販売 ●ミドリ安全
- 小売業 アルビス イオン ●イズミヤ イトーヨーカ堂 オークワ ●関西スーパーマーケット 京阪百貨店 コメリ 山陽百貨店 ジャパン ●西武百貨店 セブンイレブン・ジャパン 千趣会 ダイエー タイキ ドン・キホーテ ファミリーマート PLANT 平和堂 マックスバリュ 中部 ミニストップ ユーストア ●ライフコーポレーション ●ローソン ポイント 青山商事 オーク 西松屋 チューン ●はるやま商事 ●パル ファーストリテイリング ●ブルーグラス ライトオン リオチェン ワークマン エービーシー・マート ニッセン ●ファンケル ジェイアール西日本デパートサービスネット ●ロック・ワールド ●あきんどシロウ ●菅屋 王将フードサービス 家族亭 カッパ・クリエイト くらコーポレーション グルメ村屋 幸楽苑 ●ココスジャパン コロワイド サイゼリヤ サンデーサン さいらーく ゼンショー デニース ジャパン 日本ケンタッキー・フライド・チキン 日本マクドナルド ビッグボーイ・ジャパン ●フレンドリー 松屋フーズ マルシェ 焼肉屋さかい 吉野家ディ・アンド・シー ワタミ ●クリスタル ゲンキョー コクミン ●スキ薬局 ●ニッショードラッグ 大塚家具 ●コーナン商事 大創産業 ナフコ コトリ コジマ 上新電機 ベスト電器 ミドリ電化グループ ヤマダ電機 愛眼 ●キタムラ ディノス 日本トイザらス ビジョンメガネ ビックカメラ ヒマラヤ ●ブックオフコーポレーション ●三城 メガネット
- 金融・保険業 阿波銀行 ●池田銀行 ●伊予銀行 ●愛媛銀行 香川銀行 紀陽銀行 ●近畿大阪銀行 ●高知銀行 ●清水銀行 泉州銀行 大正銀行 ●但馬銀行 ●中国銀行 徳島銀行 ●鳥取銀行 トマト銀行 野村信託銀行 百十四銀行 ●びわこ銀行 福邦銀行 北越銀行 北陸銀行 ●北国銀行 ●三井住友銀行 ●三菱東京UFJ銀行 ●みちと銀行 ●りそな銀行 和歌山銀行 阿南信用金庫 尼崎信用金庫 淡路信用金庫 愛媛信用金庫 ●大阪厚生信用金庫 ●大阪府信用金庫 大阪府信用金庫 大阪信用金庫 大坂東信用金庫 大坂西信用金庫 金沢信用金庫 観音寺信用金庫 ●きのくに信用金庫 京都北都信用金庫 近畿労働金庫 興能信用金庫 神戸信用金庫 ●湖東信用金庫 滋賀中央信用金庫 四国労働金庫 ●十三信用金庫 摂津水都信用金庫 ●高松信用金庫 但馬信用金庫 ●但馬信用金庫 津山信用金庫 敦賀信用金庫 中兵庫信用金庫 奈良中央信用金庫 ●西兵庫信用金庫 ●日新信用金庫 ●の共栄信用金庫 播州信用金庫 姫路信用金庫 ●校方信用金庫 ●福井信用金庫 北陸労働金庫 水島信用金庫 藍澤信用金庫 いちよし証券 ●岩井証券 ●エース証券 ●SMBGフレンド証券 岡三証券 ●コスモ証券 ●新光証券 ●大和証券グループ本社 日興コディアル証券 ●野村証券 ●みずほインベスターズ証券 全労済本部 ●第一生命保険
- 日本生命保険 ●三井生命保険 ●明治田田生命保険 大阪証券取引所 大阪府中小企業信用保証協会 京都信用保証協会 滋賀県信用保証協会 兵庫県信用保証協会 和歌山県信用保証協会 ●オリエントコーポレーション クレディセゾン 三洋電機クレジット ●セントラルファイナンス
- 不動産業 ●エイブル ●すみしん不動産 住友不動産販売 積和不動産関西 大京住宅流通 ダイアモンドシティ 日本エスリッド 平和不動産 みずほ信託不動産販売 三井不動産販売
- 運輸・通信業 ●アートコーポレーション ●エイチ・アイ・エス エーティービー エスラインギフ ●岡山県貨物運送 上組 近畿日本ツーリスト 鴻池運輸 サカイ引越センター 杉村倉庫 センコー ●東京急行電鉄 東洋冷蔵 トナミ運輸 南海電気鉄道 西日本旅客鉄道 日鐵物流 日本貨物鉄道 日本梱包運輸倉庫 日本通運 福山通運 ヤマトネ ヤマト運輸 ヤマトロジスティクス エヌ・ティ・ティ・データコム関西
- 電気・ガス・水道・熱供給業 関西電力
- サービス業 ●エフアンドエム 日本経営 ●大阪経済大学 大阪YMCA ●大原学園関西本部 相生商工会議所 高岡商工会議所 尼崎市スポーツ振興事業団 大阪府市町村職員共済組合 ●大阪府中小企業家同友会 徳山市社会福祉協議会 ●聖隷福祉事業団 アークス インテック エヌ・ティ・ティ・データ カテナ ぎく ケーシーエス シーシー ソフトウェア興業 ●STG ●トランス・コスモス ニフティ 日本コンピュータ・システム ●日本コンピュータ・ダイナミクス ●日本電子計算 日本ビジネスコンピュータ 富士ソフトABC ●富士通エフエスオー 富士通サポートアンドサービス ヤマトシステム開発 USEN ●ばど ジェイアール東海ホテルズ 藤田観光 プリンスホテル 三井観光開発 ●コナミスポーツ&ライフ 伊賀南部農業協同組合 いずも農業協同組合 ●茨木市農業協同組合 石見銀山農業協同組合 遠州中央農業協同組合 大坂市農業協同組合 ●大阪中河内農業協同組合 ●大阪北部農業協同組合 香川県農業協同組合 鹿児島県農業協同組合中央会 各連合会 甲賀郡農業協同組合 たじま農業協同組合 丹波ひかみ農業協同組合 兵庫西農業協同組合 兵庫六甲農業協同組合 みのり農業協同組合 ●兵庫伊吹農業協同組合 ●秋葉農業協同組合 ●アクトエス エヌ・ティ・ティ・リース ●サスキム 住商オートリース タイター 大和工務リース セコム 東海リース エン・ジャパン スタジオアリス 日本医務センター 日本管財 ●日本住宅保証検査機構 日本郵政公社 ●日本ロングライフ 白洋舎 ビケンテクノ ●ビジネスブレイン 太田昭和 フジスタック ●フルキャスト ●毎日コミュニケーションズ ●山田債権回収管理総合事務所
- 公務員 道庁 都道府県庁 各都道府県庁 各市役所・町・村役場 各都道府県警察本部 市・町・村消防本部 各都道府県高等学校教員 各市町村高等学校・中学校教員

※は女子を含む就職先

CLUB

クラブやサークルの活動もますます盛ん。

現在、73の公認クラブ、約70のサークルが活動しており、全体で約3500名の学生が、スポーツや芸術、学術の分野で積極的に活動しています。

なかでも今年度体育会クラブでは、全日本大会出場や1部昇格が相次いでおり、今後の更なる活躍が期待できます！



体育会 主な戦績

合気道部	関西学生合気道演武大会 全日本合気道演武大会	出場 出場
アイススケート部	世界ジュニア選手権大会 関西学生氷上競技選手権大会	出場 (個人総合・500m・1500m・3000m・5000m)優勝
	国民体育大会冬季大会 スケート競技会	ショートトラック1000m 優勝
	日本学生氷上競技選手権大会	2部(男子個人) ベスト8
アメリカンフットボール部	関西学生アメリカンフットボールリーグ	Div.III Bブロック
カヌー部	関西学生カヌー選手権大会	K-4 1000m決勝:5位 K-1 500m×4リレー決勝:5位 K-1 500m×4決勝:8位
空手道部	全日本大学空手道選手権大会 全関西大学空手道選手権大会	出場 優勝 1部リーグ昇格
弓道部	全日本学生弓道選手権大会 関西学生弓道選手権大会 関西学生リーグ戦 大阪府学生弓道選手権大会	出場 【女子】個人10位入賞 【男子】4部B、【女子】3部A 【女子】個人5位入賞
競技スキー部	国民体育大会冬季大会 全日本学生スキー選手権大会	(個人) 出場 (個人) 11位
剣道部	全日本学生剣道優勝大会(団体) 関西学生剣道優勝大会 大阪学生剣道大会	出場 (団体) ベスト12 (個人) 第3位、奨励賞
硬式庭球部	関西大学対抗テニスリーグ戦	5部
硬式野球部	関西六大学野球春季リーグ戦 関西六大学野球秋季リーグ戦	4位 2位、ベストナイン
ゴルフ部	関西学生春秋4・5・6部リーグ戦	5位
サッカー部	関西学生サッカー春季リーグ戦	2部Bブロック優勝・入替戦出場
少林寺拳法部	少林寺拳法関西学生大会	敢闘賞(単独演武二段以上の部) 優良賞(自由組演武三段以上の部)
自転車部	全日本大学対抗選手権	出場
柔道部	関西学生柔道優勝大会 全日本学生柔道優勝大会	ベスト16 出場
重量挙げ部	春季ウェイトリフティング 大阪選手権大会	105kg級 3位
準硬式野球部	全日本大学準硬式野球選手権大会 関西地区大学準硬式野球選手権大会 近畿六大学準硬式野球春季リーグ戦	出場 優勝 優勝
水泳部	全日本学生ライフセービング選手権大会 日本学生選手権水泳競技大会 関西学生選手権水泳競技大会	【男子】レスキュー チューブレスキュー 7位入賞 出場 出場
ソフトテニス部	関西学生ソフトテニス春季リーグ戦(男子) 関西学生ソフトテニス秋季リーグ戦(男子)	3部4位 3部1位
卓球部	秋季関西学生卓球リーグ戦 近畿卓球選手権 全日本大学対抗卓球大会予選 全日本対抗卓球大会 関西学生卓球選手権大会 関西学生春季リーグ戦 関西学生新人卓球大会	2部優勝・1部へ昇格 (シングルス) 3位 (ダブルス) 出場 (シングルス) 4位 (ダブルス) 6位 2部リーグ 2位 (シングルス) 3位 (ダブルス) 優勝
チアリーダー部	硬式野球部、アメリカンフットボール部等 公式戦応援	
日本拳法部	大阪市民大会 西日本学生拳法選手権大会	初段・武段の部 2位 ベスト8
ハンドボール部	全日本学生ハンドボール大会 関西学生秋季リーグ戦 関西学生トーナメント選手権大会 西日本学生選手権大会	出場 1部 2位、優秀選手ベスト7 3位 3位
バスケットボール部	関西学生バスケットボールリーグ戦 関西学生バスケットボール選手権大会 西日本学生バスケットボール選手権大会	2部 2位・入替戦出場 ベスト8 出場
バドミントン部	関西学生バドミントン秋季リーグ戦 関西学生バドミントン春季リーグ戦 全日本学生バドミントン選手権大会	優勝・1部へ昇格 2部 2位 出場
バレーボール部	関西大学バレーボール連盟 秋季リーグ戦(男子)	3部 3位、ベストリベロ賞、スパイク賞 出場
ボクシング部	近畿ボクシング連盟	3部
洋弓部	関西学生アーチェリーリーグ戦	2部Aブロック優勝・入替戦出場
ヨット部	全日本470級選手権	出場
ラクロス部	関西学生ラクロスリーグ戦	【女子】3部Aブロック3位 【男子】3部ブロック
ラグビー部	関西大学ラグビー	Bリーグ
陸上競技部	adidas MBCハンガーマラソン2006 琵琶湖大学駅伝 関西学生陸上競技学年別選手権大会 関西学生混成選手権大会 全日本大学駅伝対抗選手権大会 関西学生陸上競技対抗選手権大会	(個人) 優勝 関西代表シード校出場 出場 出場 出場 3位(1500m、円盤投) 2位(3000mSC) 1位(走幅跳)【総合6位】

2005年11月～2006年10月戦績より抜粋

FACILITIES



2003年に完成したB館は、学生たちの憩いの場。開放感あふれるエントランスが特徴的なB館。進路支援センター(就職課・インターンシップ課)やカフェテリア(1・2F)があり、多くの学生でにぎわっています。最上階は大学院専用のフロアとなっています。

2003年に完成したB館は、学生たちの憩いの場。

2002年に完成したA館は、多目的な学術館。2002年に創立70周年記念館として完成した、人間科学部の中心棟。907名収容のフレアホールやギャラリーを設置、講演会など多くの地域の方に参加いただいています。本年、心理臨床センターが開設、一般の方々からの相談も受け付けています。



2002年に完成したA館は、多目的な学術館。



時代的一步先を行く先進のIT環境。学内には、光ファイバーによるギガビットイーサネットが接続された情報ネットワークを構築。1000台以上のパソコンが学内各所に設置されています。全学生に個人ID、メールボックスが確保され、授業時間以外に利用できるオープン端末室や学外からでも利用ができる環境が整っています。

時代的一步先を行く先進のIT環境。

2004年に完成したC館は、快適な学びをサポート。屋上庭園スカイオアシスはガーデニングが美しい学生の安らぎの場。セルフラーニング室や地域活性化支援センター、経営・ビジネス法情報センターなど設置。さまざまな教室を備え、充実した授業が行われています。



2004年に完成したC館は、快適な学びをサポート。

キャンパスライフ。

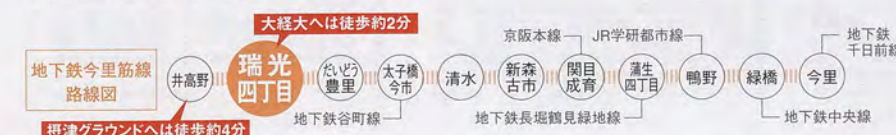
もっと便利に、もっと楽しく、もっと快適に。キャンパスもどんどん進化している。

人間科学部の中心棟であるA館、大学院専用フロアを持つB館、多目的ホールやセルフラーニング室を備えたC館など、多彩な施設を多く配置しています。快適な環境で、高度な教育・研究活動を進めることが可能です。

ACCESS

さらに便利になったアクセスはまさに西日本一の好立地。

本学は、大阪の中心部に位置する「都市型キャンパス」です。神戸・京都へのアクセスにも優れ、フィールドワークやインターンシップ、就職活動など、学生生活を過ごすには最適な環境です。また、2006年12月に地下鉄今里筋線が開通予定！本学から徒歩約2分の最寄りに「瑞光四丁目」駅が設置されます。大阪東部や奈良からの通学がさらに便利になります。



さ

らに変わる経大へ。

第二次中期計画の実践
そして、創立80周年に向けて理事長就任挨拶大学理事長
真銅 孝三

この度、理事長に就任しました真銅でございます。微力ながら理事会、評議員会、教職員、後援会、そして、同窓生皆様方のご協力を得て職務を全うする所存です。

大学は、高等教育を修めた人材を社会に送り出し、また、様々な研究成果の社会還元によって、日本の経済社会の発展に寄与してきました。しかし、少子高齢化を始め二十一世紀になってあらゆる分野で大きな環境変化が起こっております。身近なところでは国立大学が独立法人となり、2005年4月には私立学校法が大幅に改正され、大学はますます競争的環境下での経営責任が問われる時代になりました。本学は建学の精神である「自由と融和」に加え「人間的実学教育」に積極的に取り組み、2002年の創立70周年を契機に、70周年記念事業及び第一次中期計画として、「地域・企業・国際社会に開かれ、評価される大学」を目指し、百以上にも及ぶ多彩な大学改革プログラムに取り組み、成功裡に終了しました。これは偏に同窓生皆様方のご協力の賜物と深く感謝いたしております。さらには、募金活動にご協力いただいた方々には重ねて御礼を申し上げます。

本学は、2002年度からR&Iに格付けを受け、3年連続シングルAプラスを取得しました。しかしながら、経営が安定しているからと言って甘んじているわけにはいきません。これからの大学全入時代を勝ち残っていくためには、正に大学の真価が問われます。現在、第二次中期計画として、「教育力・就職力・研究力・経営力の強い大学」を目指しています。

第二次中期計画の実践は理事会はもとより、学長、教職員をはじめ、同窓生皆様方のご協力を得て、はじめて実のあるものとなります。70余年の歴史ある大阪経済大学の新たな飛躍、同窓生の皆様にとつて誇りある大学づくり、そして創立80周年に向けて努力を尽くす所存ですので、今後とも同窓生皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新理事長プロフィール

昭和6年2月3日生まれ。同28年3月東京大学法学部法律学科卒業。同年4月倉敷紡績株式会社入社。平成5年6月代表取締役社長。同13年6月代表取締役会長。同16年6月相談役（現在に至る）。同18年10月に本学理事に就任。同月理事長に就任。
主な公職として、関西生産性本部会長、関西経済連合会常任理事、日本経済団体連合会理事を務める。

支部だより

全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ

秋空

北海道支部

昭和44年3月卒業の私も来年の3月で満60歳になります。
昨年の3月、大腸ガンですね、と淡々と症状を説明する医師の姿に不思議な位に恐怖とか絶望は無く、ただ「時間」が無いな、どうするかな？と思つた事を今でも鮮明に覚えている。卒業時の「ガンバレ」は何事も成せると思つた頃、今余りにも遣り残しが多い自分が居る。人立場で思ひはその数有ると思いますが！私自身1年半過ぎた今、生きている限り人は遣り残しだらけと思う様になった時（全く自己中ですが）何んとはなしに体が軽くなった様に感じました。今日一日を充分充実出来る生活をしようと、言訳けしつづつ過ごしている今日今頃です。今日の札幌は素晴らしい秋空です。

上田正人（35回）

支部総会で講演会

東京支部

平成18年の支部総会は、Sunm iTAKAMATSUにて開催しました。来賓として高塚邦夫大学事務局長、中平秀寛同窓会会長、小谷芳男同窓会副会長をお招きし、お言葉を頂戴しました。また今回、テレビ東京解説委員、本学客員教授の岡田晃

大阪経済大学同窓会
東京支部総会

先生にもご出席いただき「安倍新内閣の今後」について講演をいただきました。政界の生の話や視聴率の話など一同興味深く楽しく拝聴しました。
後半、参加者のお互いの近況報告、初参加者の自己紹介と瞬く間に2時間余が過ぎました。
毎年1200余名の同窓生に案内を送付していますが、今年は40余名の出席に止まってしまいました。来年は是非多数の出席があります様よろしくお願いいたします。

幹事 松田至朗（45回）

和やかな支部総会

富山支部



大阪経済大学同窓会富山県支部総会

富山県支部は本年7月8日（土）に富山市のオークスカナルパークホテル富山にて総会を開催し、会員の皆さんの交流と親睦を深めることが出来ました。同窓会より中村敏啓副会長と大学より高橋努経営本部長のご出席のもと、和やかな雰囲気の中で学園の現状と将来についての報告を頂きました。

今年も支部総会の案内に近況の欄を設けたところ、当日都合で参加されなかった皆さんからも様々な情報やご意見をいただきました。今後の運営に役立てていきたいと思っております。これから



福井県支部は発足40周年

も多数の会員の皆様にご出席をお願いし、活発な総会になるようお願いいたします。

支部長 重松 尚（23回）

福井支部



福井県支部は今年創設40周年を迎えました。7月1日、大学から東正朗教学本部長、同窓会から中平秀覧会長、梅原猛常務理事をお迎えし、嶺南の金井、山崎、畑守、鈴木の名氏のお世話で敦賀市の「あみや」において総会を開催しました。

予算、決算の承認の後、役員の変更では、平成12年から6年間にわたり支部長をつとめられた第2代支部長吉田親氏が顧問に退き、第3代支部長に石橋隆夫氏が、副支部長に畑守喜久男、玉木誠の両氏が就任しました。料亭「あみや」は奇しくも40年前に創立総会を開催した場所でもあり、年配の会員は当時を偲び遅くまで思い出話に花が咲きました。

また、9月23日には支部創立40周年記念事業として母校を訪ねました。秋分の日にもかかわらず、大学の高塚事務局長、同窓会の水納副会長、津秋副会長、竹中事務局長の出会いをいただき、学内を見学させていただきました。往時の面影は全く残されていないものの、緑豊かな素晴らしい教育環境に生まれ変わった母校のキャンパスで暫しの思い出に浸りました。

支部長 石橋隆夫（32回）

中平会長を迎え 17年度愛知支部総会

先輩の絵画ミニ講演が好評

愛知支部

平成17年度の愛知支部総会を10月29日夜名古屋市中区栄の名古屋国際ホテルで開催しました。母校から八木田恭輔教授、そして今季選任された中平秀覧同窓会会長に早々とご出席頂きました。また、いつも参加されていた事務局長に代わって久しぶりに神田事務局代理がお見え、和やかな雰囲気の中、若手幹事の小松氏の司会で進行。学歌斉唱のあと支部長から前年度の田中会長に次いで今回迎えた就任間もない中平新会長が同期生であるなど二重の喜びを披露。

母校の八木田教授からは2006年度にスタートする経済学部・経済学科が二部制から統合した昼夜開講制、デイトタイム、フレックス、イブニング履修と社会的ニーズを反映した制度の概要、また人間科学部の運営、受験生の獲得、教育内容、卒業生の就職そして人間科学研究科の設置等々拝聴。つづいて中平会長から大樟教育研究会や春秋会を始めとして母校発展への更なる支援、入学、就職など、いわゆる入口、出口への支援活動を充実させて行く重要性など抱負と支援の挨拶があり拍手で応え。

記念撮影の後、愛知支部伝統のミニ講演に移り「我が人生、仕事」として創作活動」と題して18回卒の西丸全一先輩が、職務の合間を縫って創作活動してきた絵画や、かつて瀬江の表紙に発表された母校の経済研究所を描いた油絵の原画をはじめ30余枚を会場に展示して、各絵についてエピソードや所感を交えて驚く講演。好評博す。退職後の今も「チャールズ会 半田」の幹事長としての活躍に一同感銘。終了後、掲示された印刷絵の大半を競って頂き持ち帰る有様でした。



今年の愛知は3月から9月まで中部国際空港の開港、愛知万博開催と話題を集めた元氣な名古屋で注目されてきました。ポスト万博もその勢いは続いています。この地には現在約370人余の同窓生が各分野で活躍しています。しかし高齢化と新入学生の減少に伴い年々少なくなっています。支部総会への参加者も一定着化しつつありますが案内への応答が150人余からあり幹事一同希望を持っています。10回卒の大先輩加藤元支部長や京都の13回卒阿部前支部長からの毎回の激励に感謝しています。

支部長 明田安生（25回）

景勝地の一泊総会

静岡支部

総会の席上で何度も希望されていた一泊できる企画を伊豆の景勝地「錦ヶ浦」で実現した。夏休み最後の土日一泊なので日程的に困難な人々が多くて参加者は減りましたが本部から水納副会長、大学から齊藤経済学部長が出席となり、各方面の話題が花を添えた内容豊かな総会となりました。また、今まで所在すら不明だった初対面者の参加も実現できた事で今後の努力に明るさを感じさせてくれた。「錦ヶ浦」は「青木ヶ原」と並び自殺の名所だったが、現在は近代的な観光開発の成功地として人気を博す所となっているので、当支部も新規巻き直し

滋賀支部総会の開催報告

滋賀支部

滋賀支部総会は、開催事務局の都合により、昨年の開催はできませんでした。今年度は、2月25日に近江八幡駅前のホテルニューオウミにて盛大に開催することが出来ました。

大学からは北村副学長・四方教学部長、また同窓会本部からは中平会長・津秋副会長のご出席を頂きました。



の感覚で各地区の面談懇親を執行したいと思えます。案内を入手した是非参加して頂くよう本誌上で要請致します。

事務長 藤田明夫（38回）

た。支部出席者は毎回同じ顔ぶれが出席していましたが、今回は初めて出席して頂いた方々や、若い方々の出席も徐々に増えてきたことが大変嬉しく存じます。また、当日は滋賀支部の正村支部長が褒章の栄に浴されたことから遠方からの支部長さまもご出席頂き、盛大に開催することができました。

副支部長 橋本一（30回）



第21回豊中支部総会を開催

豊中支部

日時 平成17年10月15日（土）
会場 豊中すてっぷホール
（阪急豊中駅前エトレ豊中ビル5階）

来賓

大学事務局長 波根 伸俊（32回）
同窓会副会長 中村 敏啓（31回）
同窓会事務局代理 神田 博（30回）

当日は生憎の雨模様であったが、初参加の若々しい上田敬二郎氏（52回）の司会で定刻に始まりました。笠井二郎支部長（26回）の挨拶は就任中の支部会員のご協力に対して感謝と各行事に参加を呼び掛けられた。大学から来賓として出席して頂いた波根事務局長は「人間的な実学を究めるもの」等の所信と今後の「大学の展望と在り方」を話されました。次いで同窓会本部の中村副会長から「同窓会の現状と今後」の諸説を伝えられた。続いて議案審議に肅々と入り特に問題なく可決を見た。今回の役員改選では7代目支部長に青木昭生氏（34回）と事務局に上田敬二郎氏（52回）が選出された。

懇親会は近くの笠井ビル1階の「ラミア・クッチーナ笠井」に移動して再開しました。同店は言うまでも無く、支部長の笠井氏が経営し、特にシェフの「長男は水くら」テレビの料理番組でも取



上げられ、また地域の情報誌にも広く紹介されているイタリア料理店でもある。青木新支部長の挨拶は「永年積み上げた支部の伝統を継承しつつ、更なる発展に努めたい」と所信を述べられた。



第2代支部長の黒田稔氏(15回)の乾杯で始まり、年配の出席者の口に合うようアレンジされたイタリア料理に皆さん舌鼓を打ちながら時間も忘れ情報交換や談笑に更けました。半ばにて第3代の山本雄三氏(28回)の学歌斉唱に続いて、同窓会事務局より神田博氏(30回)の祝辞を頂き、終盤大学の発展と同窓会の輪を広げようと第4代支部長の林博(12回)の万歳三唱と共に散会となりました。

林 博(12回)

「男の料理教室で身体に良い料理を作りましょう」

豊中支部

豊中支部(支部長、青木昭生氏)は、本年5月20日(土)午前10時から同窓会本部副会長・広報部長森川義一氏を招いて、豊中市障害福祉センターひまわり調理室で、「生活習慣予防料理の作り方」をテーマに男の料理教室を開催しました。

豊中支部では「秋と春の2回のハイキング」「麻雀大会」「カラオケ大会」「ゴルフコンペ」「ボーリング大会」「一泊読書会」など、多種多彩なイベントを開催してまいりましたが、過日「男の料理教室」の話題が持ち上がり、今回同支部としても、はじめての開催にこぎつきました。

料理開始に先立って豊中市健康づくり推進課栄養士の池上益世さんか



「日本は世界一長生きしていると言われておりますが、実態は病気で入院して、最新医療で寿命を延ばしてもらっている人も加えてでしょう。健康で生活を維持するにはストレスを溜めないこと。生活習慣病予防の料理を食べ、コレステロールを溜めないこと。健康で長生きできるよう、家族や周りに迷惑を掛けないよう(ピンピンコロリ運動)

に心掛けましょう」との挨拶があり、参加者一同料理に取り組んだ。当日のメニューは「豆腐ハンバーグ」「キャベツの磯辺和え」「にんじんサラダ」「ごはん」「そばうどん」「デザートりんご」「コーヒ」の7品目。材料費のすべてを豊中市の助成金でまかなっていたが、大変リーズナブルなイベントであつたことに加えて、生活習慣病予防のための低カロリーに設定したレシピで、しかも出来上がった料理がうまいとあつて大好評。隣のテーブルと味比べをしてその出来栄に話題も大いに盛り上がりました。

推進委員 山本雄三(28回)

豊中支部19年度行事

豊中支部

豊中支部の行事を報告致します。
一、第22回記念総会、懇親会
ホテルアイボリー
平成18年10月14日(土)

二、秋のハイキング
猪名川ウォークコース
平成18年11月19日(日)

三、麻雀大会
麻雀店ボソ

平成19年3月17日(土)

四、春のハイキング
近つ飛鳥風土記の丘

平成19年4月14日(土)

五、カラオケ大会
カラオケスタジオ妙

平成19年5月12日(土)

六、ゴルフコンペ
ヤシロカントリー

平成19年5月16日(水)

七、料理教室
平成19年6月16日(土)

八、ボーリング大会
ボウル曾根

平成19年7月7日(土)

九、読書会・泊旅行
簡易保険保養センター

平成19年9月8日(土)～9日(日)

参加希望者は事務局 上田敬二郎
(06)6831-3984まで連絡お願い致します。

支部長 青木昭生(34回)

「男の料理教室で身体に良い料理を作りましょう」
裏話いろいろ
豊中支部

堺支部設立時より気になっていた事ですが、卒業生が集まる機会が、学校

全国の支部からの活動報告と支部総会のお知らせ

の同窓会の定期総会だけでは、お互いに触れ合う機会が少なすぎます。そこで堺支部では、旅行会(二泊)年2回のゴルフ会に加えて、今回第1回目の懇話会を開催することにしました。こうすれば総会に出席できなかった人も、いずれかの会に出席でき、その回を重ねることにより、卒業生間の仲間意識がでると思いい企画しました。

最初の会なので、参加していただく人数がわからず心配しましたが、予約していた40人の会場に入りきれず、当日困りましたが、参加者全員誰一人席を立つこともなく、講演会を終え、有意義な一日だったと思っています。



一応支部長の私が言い出したことなので、第1回目の議題は「昨今のゴルフ場の裏話」ということで話をしましたが、今後も1年に何度かは懇話会を企画しますので、他の支部の方も話題作りのため、遊び心で是非ご参加ください。

支部長 堀本 修(24回)

堺支部本年度活動報告

堺支部

18年
2月4日(土)
幹事会

場所：大阪南区 やすらぎ
2月18日(土)
本部全国支部長会

支部長出席
場所：母校
2月25日(土)
滋賀支部総会出席

支部長出席
場所：ホテルニューオウミ
3月24日(金)
第3回堺支部ゴルフコンペ

堺カントリークラブ
5月13日(土)
第1回懇話会

場所：堺 じばしん
卓話者：堀本支部長
6月24日(土)
同窓会理事会

堺支部親睦旅行会と重なった為欠席

6月24日(土)～25日(日)
第2回堺支部親睦旅行会
能登半島方面
9月8日(金)
堺支部幹事会
場所：堺東 すし美
9月29日(金)
第4回堺支部ゴルフコンペ
河内長野・天野山カントリークラブ
10月14日(土)
第2回懇話会
場所：堺 じばしん
卓話者：泉並副支部長
11月18日(土)
堺支部総会



場所：リーガロイヤルホテル堺
講演者：人間科学部
片山麻美子教授
支部長 堀本 修(24回)

和歌山支部総会

和歌山支部

平成17年11月12日、小谷芳男同窓会副会長、山田文明経営学部助教授をお迎えして、支部総会を華月殿で51人が参加して開催しました。





第一部は山田文明助教授より「北朝鮮脱出者の実情と私たちの課題」と題して講演を行って頂き、北朝鮮をめぐる諸問題などに理解を深めることができました。

第二部の総会では、来賓として大橋建一和歌山市長から挨拶があり、宇藤博文支部長(28回)より1月に支部幹事会の開催、那賀地区主催で年2回親睦ゴルフコンペの実施、6月には大樟会の集いを通して17歳からのメッセージの学校への協力など、支部活動が報告されました。今回の総会では小谷副会長を迎え、ラグビー部のOBが多数参加。総会を盛り上げて頂きました。

事務局 新田和弘(32回)

総会報告

尼崎支部

尼崎支部は平成18年度総会を4月26日に尼崎市の「ホテルニューアルカイック」に於いて開催致しました。来賓として大学から高橋努理事、同窓会から中平秀寛会長、水納敏也副会長、梶村貞男事務局長、そして山本晴義元学長と会員44名の参加がありました。総会では高橋努理事、中平同窓会会長の挨拶の後、会計報告を行いました。懇親会では山本元学長の乾杯にて始まり、今年はゲストをお招きしての演奏会が行われ、大変好評をいただきました。最後に学歌を熱唱した後に



平沼副支部長に締めめの言葉をいただき、今後の同窓会の発展を願いながら散会しました。今年は昨年以上に人数が集まりました。来年以降もこの状態が続きますよう皆様の参加をお待ちしております。

支部長 小谷芳男(24回)

阪神支部第2回総会

阪神支部

一昨年11月に初回阪神支部総会を開催してから今回もホテル甲子園で9月2日に同じ会場にて開催致しました。



学校側からは高橋努経営本部部長始め同窓会側からは中平秀寛会長、副会長の小谷氏、森川氏にご出席賜り進木支部長以下30数名の出席のもと和気藹々のうちに約3時間はあっという間に過ぎました。毎回総会の出席状況に頭を痛めており今回も案内状の返信が3割にも満たない事もあり出席者の意見も反映するべくアンケートも取ってみました。

せめて案内状の返信欄で現況報告等を各同窓生にお願いしたい。瀬江の愛読者より呼びかけます。

副支部長 金子 赫(24回)

神戸支部総会

神戸支部

平成17年度神戸支部総会は、平成17年11月23日(水・祝)12時より、神戸・元町駅北側の「パレス神戸」に於いて開催いたしました。総会には、大学側から八木田恭輔教授、同窓会から佐藤武司関連推進部長、藤原広太郎常務理事、姫路支部から永井孝治副支部長、丹有支部から峯山 隆様にもご出席いただき、来賓の皆様から現在の大学を取り巻く状況や卒業生の就職状況、同窓会の活動状況などの報告と今後の同窓会の在り方、そして近隣支部での同窓生の活躍情報等心温まるご挨拶をいただき、出席者73名で支部総会の幕が開かれました。

神戸支部総会は、前年まで毎年、平

和気藹々と開催

岡山支部

恒例になりましたが、岡山支部は毎年7月の第2土曜日。今年は7月8日(土)に岡山ブラザホテルにて支部総会を開催致しました。

数年前より大学の父母懇談会が7月の第2日曜日に岡山で開かれるようになり、前日にすれば大学関係者の方も同窓会本部の方もよりご出席頂けるものと思っております。



平成17年度
大阪経済大学同窓会 神戸支部総会

日の夕方6時より開催していましたが、この数年出席者の微減が続いていたため、出席者の増、特に女性や新卒者にもたくさん出席していただくことを目標に、実行委員会を立上げ、開催日も休祝日の昼に変更し、今回の総会に至りました。

総会では、新たにアトラクション(ビ

平成18年度支部総会開催

淡路島支部

9月9日(土)の第16回総会は、大浜海岸を望む「淡路島国際ホテル アレックス」で経営学部長二宮教授、同窓会本部より小谷、水納副会長を来賓として迎え、27名の会員が出席して開催されました。

総会では、1月急逝された長船支部長の後任として前副支部長の竹内通弘氏(34回)、新たに副支部長として小堀植員氏(41回)がそれぞれ就任。会計及び幹事の一部交替もあり、市町合併に伴う新役員体制が承認されました。

席上、ご来賓より大学経営の課題や教育改革の現状、同窓会の現状報告があり、懇親会では3名の初出席会員から自己紹介が行われ、和やかに歓談。最後に声高らかに学歌、追憶歌と万歳を三唱し、母校発展に向けた協力



第16回大阪経済大学同窓会淡路島支部総会

と活躍を互いに誓い合い散会しました。役員一同、支部会員の揺るぎなき母校愛のもと、次回の積極的な参加を心よりお待ちしております。

事務局 喜田憲康(40回)





今年は大谷母校より小谷経営情報学部長他4名、同窓会本部より中平会長にご出席頂き、50数名弱ですが盛大に和気藹々と開催することが出来ました。ある会員の強い要望で、黒正明様にも参加して頂き、年に一度の楽しい会合になりました。

6時〜7時まで総会、7時〜9時まで懇親会で9時過ぎに学歌、逍遙歌を皆で合唱し惜しみながら散会となりました。

支部長 小野 隆(35回)

津山支部総会の報告

津山支部



8月26日、高塚大学事務局局長様、同窓会本部より小谷副会長様、除下相談役様、岡山支部小野支部長様、塩尻常任幹事様のご来賓を始め、今年も多く参加を得、総会を盛大に開催。(初参加は56回佐古順一さん、57回大山博聖さん)ゴルフコンペを今年も開催し8名参加、16回の荒木毅大先輩がハイスコアで...お見事でした。

また総会前の高塚様、小谷様との懇談で、大学、同窓会本部と連携し、地元高校への学生の募集の取り組みを推進したいと考えます。

来年も多く皆様の参加を得て盛大な総会にしたいと思います。

支部長 竹本 巧(37回)

皆に誇れる大学に

広島支部

10月21日土曜日広島国際ホテルにて第64回広島支部総会を開催しました。

東教学本部長、黒正大学院事務室課長、中村同窓会副会長が来賓として出席され、学校を取り巻く環境の変化や人間科学部のカリキュラム再編の事など、現在の状況と今後の指針を伺いました。

近年は、初めて支部総会に参加者する方も増えてきましたが、卒業生在校生の同窓会に対する意識改革、特に



若いひとの活力を生かせる環境づくりを目指し、大学・同窓会が共榮し皆様に誇れる大学にすべく、支部からも盛り上げていこうと皆で再確認しました。

総会参加者は、30年を超える年の差も関係なく和やかな歓談の後、全員で学歌、逍遙歌を声高らかに歌い、来年また会うことを約束し散会しました。

会計 飯田 徹(57回)

支部総会に参加していませんか!

香川支部



本年7月8日、全日空ホテルクレメント高松で、大学後援会主催の教育懇談会終了後、18年度支部総会を開催しました。

大学からは、人間科学部長山田裕康教授、四方洋子教学部長はじめ5名の方々、同窓会本部から小谷芳男副会長、支部会員9名、計15名が参加しました。

今回は、会員への開催案内が遅れた

第23回支部総会を開催。



愛媛支部

松山にて青春

ため、少数の参加でしたが、今後は早めのご案内に努めようと思っております。

また、県内にお住みの方で支部総会に参加してみようと思われている方は、左記へご連絡くださるようお願い申し上げます。

高松市中野町23番23号

地方職員共済組合ボール讃岐

総支配人 岡野 831-3330

支部長 岡野 敦(31回)

今回議題の一つとして取り上げられたのは、地理的に東西伸長した本県支部の二分割案である。これは偏に総会出席者数の伸び悩みに起因する所の発案であり、他の支部同様(失礼)古くて新しい問題と言えよう。今回は否決されたが、いずれ又姿形を変えて議論の対象になろうかと思われる。

同窓諸氏の皆様、どうか小野支部長以下執行部の方々の努力に是非応えて頂きたい。そして次回には一人でも多くの出席者をお迎えしたいものです。

正直申し上げて同窓会たるもの、目立ったメリットはございませんが、旧交を温め、青春の一ページを想い出し、明日への活力としませんか。

幹事 一色和夫(37回)

この一年の主な活動報告

徳島支部

昨年末の新体制発足後、活動は低調の極みでした。これは、事務局の不真面目が原因と申し訳なく思っております。

①年明けの今年1月27日徳島市富田町の福寿司で新年会を開催。13名が集い久しぶりに畳の間の宴となりました。互いに杯を酌み交わし、少しづつ気持ちも和らいでくるにつれ宴卓のまわりのあちこちに小さい車座ができれば、仕事・家庭の事と年齢も気にしない先輩後輩の和

支部同窓会参加者募集

北九州支部

2006年2月4日、北九州支部同窓会を開催いたしました。

大学代表として教学本部長の東正朗氏、同窓会代表として副会長の水納敏也氏をお迎えし、大学及び同窓会の近況を報告していただきました。大学を取り巻く環境も益々厳しくなり、他大学に優る大学創りが必要であると感じました。

同窓会に参加している皆様は、更に良き大学に進化し、永く継続して頂きたいと願っています。現在北九州支部は毎年2月に同窓会を開催しております。参加人数通年20名前後です。まだ参加されたことの無い卒業生の皆様、久しく参加が遠のいている卒業生の皆様、多忙中とは思いますが、年に一度の開催です。ご参加お願いします。

支部長 植田達三(52回)

現状報告と活動予定

大分支部

ご無沙汰致しております。現在組織としての活動としては、会員を増やすことに全力をそそいでおります。みんなのスケジュールが合わずなかなか日程が決まりませんが、先輩の中で中心になつてまとめてくださる人をさがしながら支部をまとめていきたいと思っております。仕事が多忙な動けませんが、みんなと連絡をとりながら進んで行きたいと思っております。

支部長 寒田 陽(40回)



いっで湯の町で居鑑賞

熊本支部



平成18年度熊本支部総会は平安時代より知られた歴史浪漫あふれるいで湯の町山鹿にて10月21日総勢17名の参加を得、開催されました。大学から高塚事務局長、同窓会から水納副会長、大阪市役所支部福地支部長、北九州支部植田支部長他、遠路より来臨賜り厚く御礼申し上げます。ホテル寿三にて総会後、傘灯籠に灯がともる風情ある豊前街道を散策し、国の重要無形文化財の芝居小屋「八千代座」に移動、山鹿風情物語と題する山鹿太鼓と山鹿灯籠踊りの競演を鑑賞致し

母校の躍進を目指す
我らの支部活動

宮崎支部

ました。明治時代の建築物、八千代座の趣きある風情と和紙のみで造られた灯籠の幻想的な優美な踊り、同窓生諸士にとって、想い出深い夜となりました。故八木田恭輔教授の故郷山鹿にお元氣な姿をと祈りしておりましたが、長年に亘り熊本支部へのご厚情改めて感謝申し上げます。来年度以降、新たな支部会員の積極的な参加をお待ちしております。幹事の立花君、苦勞様でした。

支部長 演 忍(35回)

宮崎支部では、母校、同窓会発展と支部組織強化に向けて年6回程定例の支部役員会を開いています。特に、母校への協力態勢としては、受験生を母校へ送り出すことと、卒業生の就職活動を援助することが主要テーマになっています。

しかし、今のところ入学、就職共に県内に母校と類似する大学が乱立していることに加えて、地方が近年経済的に疲弊しきつていくなどから満足いく結論が得られずにいます。

一方、支部活動については、一人でも多くの会員が母校愛に燃えて支部活動に参加できるよう手だてを考えているところです。支部定期総会は毎年11

月の最終土曜日です。支部会員の皆様のご出席を心からお待ち申し上げます。

支部長 大盛豊一(23回)



離島と大学との連繋

南九州支部

わが南九州支部に、新しい動きが生まれました。昨年の沖繩での会合後、経済を学んだ徒としての発想で、奄美の中でも、琉球経済圏の中に、与論、沖永良部が入り沖繩の方が近くて安くて集まり易いことが判り、多くの同志が集

ることが出来る様な会に発展したいという試みです。沖繩は、これからの環太平洋経済の中に重要な役割を果すところで、卒業生も出張族が多いのですが、同窓会組織の充実がないので今までは、集うことさえなかったのです。私学が少ない沖繩と奄美は、関西に出身者が多くその人達を頼って進学する人も数多くおられます。大学の募集も、この様な地域へのアピールを重点的にやつてもらいたいとの願いを込めて南国の支部よりの便りです。

支部長 前蘭博隆(34回)

昭六会便り

昭六会(第6期生会)



中平会長が無理な予定の中で、磯野先輩が食事制限で食物は一切口にしない条件で出席頂き大変感激しました。会長、磯野先輩を中心に経大運営について議論しました。磯野先輩の若々しい母校愛に燃えた論旨に圧倒されました。黒正明・清氏が父の業績を文書写真で残す企画を進めており、父の指導を受けられた昭六会の方から話を聞きたいと申出があり、席を改

傘寿を迎えて

ひとみ会(第13期生会)

平成18年4月17日(月)ひとみ会は、ロイヤルホテル28階のクラウンルームで同期会を開催いたしました。

同窓会副会長水納敏也様(25回卒)が御出席下さいまして、大学の現在の様子などお話をいただき有意義でございました。

私達は、ほぼ傘寿を迎えました。

眼下に高層ビルが建ち並ぶ見事な街を眺めまして、空襲で大阪市が焼野原となった時期に、学生時代を過ごした共通の思い出を持って居りますので、共に感無量でございました。

出席者30名懐かしい顔々、「なだ万」のお料理を食べながら、おしゃべりに、花を咲かせ、若返りましたが、あつという間に午後3時、まだまだ長生きをして、来年また楽しませようと思散散いたしました。

中守英子(13回)

第16・18回同期生の会

第16・18回同期会



昨年は久しぶりに20名近くの参加があつて喜んでいましたが、本年はその半分…。どうしたら大勢の人に参加してもらえるのか。妙案があれば教えてほしい。

だんだんと加齢が進み、体調不良を訴える症候群となるのはやむをえないが、それでも元気で頑張っている仲間もいる。健康に留意して余生を有意義に送ろうではないか。

日時 平成18年5月15日(月)

場所 ダイヤモンド

有馬温泉ソサエティ

参加 11名(昨年は19名)

酒井克己(16回)



第5回 経大26会の集い
日時 平成19年5月24日

これらについて、会員の皆さんの協力をお願いし、より以上、この夢で終わらないように。

世話人の一人 松本 孟(26回)



夢を追い求め度い!
29期同期会
各地から米穀通帳持参で経大に入
学し、60年安保の激動時代に学んだ学
生も卒業から43年が経った。実社会で
額に汗して踏ん張って培った年輪の原
動力こそ母校経大にあります。70周
年の節目の年から元気な内にせめて年
一回は会おうと決め、「共に喜ばば喜
びは倍になり、共に悲しめば悲しさは
半分になる」のムードで旧交を温めて
居ます。

あの顔の顔
第30期生同窓会
卒業後40余年。発起世話人20数名
のご努力で7月29日(土)、昨年に続き
第2回目の30期生同窓会が母校で開
かれました。都心のホテルとでなく
この日はhome coming dayとしてキャン
パスの佇まいをも体感できることに意
義がありました。私達30期卒生は七
一一名、宛先不明の方も三〇〇名以
上の多さとか。しかし集った同志(連年
で九十八名)は一樣に「ケーダイ」に今
なお情愛を寄せているのが弾む会話に
伺えたひと時でした。私達は健康を源
に総会を他人事とせず夏の恒例イベン
トとして「出席できる時はしましょう」
を合い言葉に散会しました。夫々に個
性を感じ元気を戴きました。やりたい



杉山 卓(30回)

事を見い出しまだ人生を謳歌し
ましょう!

23期生の集い

第23期生会

皆様と毎年続けております楽しい
集い、今年で22回目となりました。同
窓会本部より水納副会長をお迎えし
て、30名が同窓会ホールで和気あいあ
いの一日を過ごしました。水納副会長か



らは同窓会と学校の現況について、
色々とお話しをしてもらいました。
一年振りの再会に話がはずみ、時間
のたつのも忘れる程でした。今では私
達全員が70才台に入っており、まず健
康第一と云う事で色々な事をやって
楽しんでおられるのがよく解りました。
最後に全員で写真をとりました。
今年都合で残念ながら出席出来な
かった方は、来年2月の第三日曜日に
は、是非出席をして下さい。お待ちし
ております。

酒井弘光(23回)

半世紀ぶりの再会

23期有志の会



「50年前の卒業式の後、旧本館玄関前にて」

「F君やな!!」「M君か?懐かしいな
あ!」半世紀ぶりの再会。お互い古稀
を過ぎたとはいえ、逢えば話せば:
すぐ判る。一昨年F君の呼びかけで実
現。集まったのは、入学時気心の合う
者が自然と寄り集まった仲間、いま
も文通しあう者達10数人。
お互いよく遊び、よく遊んだが勉強
はいまいち。でも卒業はなんとかでき、
大企業や官庁等に就職。さすが経大
生!!。功成り名を遂げ、いまは悠々
自適(この暮)。
卒業後は学校とは疎遠に。しかし
逢えば自然と学生時代のことばかり。
お互い元氣なうちに毎年寄ろうとい
うことで、今年も5月に再会。本部か
ら恵送戴いた諸資料で、大きく変貌す



「今年5月の再会時」

る母校の姿に、喜ぶやら驚くやら。
次回はぜひ母校を見学しようと思ひ、
全員元氣で再会することを約し、散会
する。

荒木登久次(23回)

昭和35年卒業の皆さん お元気ですか

経大26会

ずい分前で「瀬江」の何号に寄稿し
たか忘れましたが、その中で「同窓会の
地域支部はあるが、学年支部が無いの
はおかしいのではないかと、地域支部を横
軸に、学年支部を縦軸として、本部は、
積極的に組織、育成に努めてほしい」旨
書いたように記憶しております。

笠井君の並々ならぬ努力で、平成15
年11月の本部同窓会総会の日に「経
大26会」が誕生し、現在に至っており、
来年(19年5月24日)には第5回の集
いが開かれるまでに、成長しました。

問題はこれからです。年々加齢化し
つつある中で、会員がこの「経大26会」
に参加してよかったナアと思えるよう
な会にしたい。

それには、どうすれば良いかを常
に、自問自答又は相談しながら世話人
の人たちは頑張っております。

○毎年の集いの限られた時間の中で、バ
ラエティーに富み、且つ後々で楽しい
記憶に残るような企画

○各個人間の交流を活発に出来るよ
うな企画

空手道部の
復活を目指すOB会

空手道部OB会



創部56年を迎え、フランスにおいて、南部義尚、塚田良三、蒲原 勉先輩が空手道で数千名の生徒を指導し活躍しておられます。

伝統校として10数年前まで大学空手道界で大経大は常時準優勝、3位となっておりましたが、最近は大、関大、同大、関学大等がスポーツ推薦で有名高校より、各10名の選手を確保している状況の中、1名の推薦ではあります。6月4日の西日本大学選手権大会（一部、2部合同）においてベスト8位に入賞しました。現在は2部に甘んじておりますが、この原稿が掲載される頃、10月8日の全関西学生空手道大会に優勝し、1部に昇格すべくOB会が全面バックアップし、日夜練習に励んでいる昨今であります。応援宜しく、押忍

指導部 奥世田正雄（34回）

18年度総会で
中山健OB会長を再選

硬式庭球部OB会

本年5月28日（日）、江口グラウンド内の硬式庭球部部室で平成18年度硬式庭球部OB総会を開き、平成18年度事業、会計報告を承認、任期満了に伴う役員改選で、会長に中山健氏（38年卒）副会長に秋山治信氏（46年卒）山本恵一氏（58年卒）会計幹事に桂秀紀氏（60年卒）事務局長に仁川勇氏（61年卒）を再選しました。

なお、奥本敏雄氏（33年卒）は名誉顧問

間兼総監督として、田淵公孝氏（54年卒）は監督として引き続き現役の指導に当たっていただき、また森川英雄氏（36年卒）は顧問兼体育会連絡協議会監事として、今後とも部発展に尽力していただく事になりました。



当日はやや風が強かったものの好天に恵まれ、恒例のOB戦ではやや動きは鈍くなったものの、随所に往年のプレーを感じさせるナイスショットもあり、参加者一同心地よい汗を流しました。最後に奥本・奥津・アギー優勝トロフィーを手にして春のOB戦を終了しましたが、奥本氏から「男女会わせて8名の新人が加入し、部に活気が漲ってきた。昨年今一歩のところで4部昇格を逸したが、今年はこの勢いで目標を達成してもらいたい」と、熱きエールを送られ閉幕しました。

森川義一（25回）

平成18年度柔道部
OB総会開催

柔道部OB会

去る、平成18年3月21日母校同窓会ホールに於て平成18年度の総会を開催する。当日は吉田相談役（24回）逸見相談役（26回）等々の参加を始め各地より80名の参加を得て開催。なお出席の予定でありました柏井大先輩（10回）が風邪の為不参加となり非常に残念でありました。来年度は是非出席をしてもらいたい。なお今年は平成15年卒仙波利章君、平成17年卒松田記幸君、斎藤啓君など若いOBの参加もありOB会として非常に心強い限りである。石橋事務局長の開会宣言と司会が始まり、下垣会長の挨拶、入江前

部長先生、萩原大先輩を始め物故者の冥福を祈り黙祷の後議事に入る。17年度の事業報告、会計報告、会計監査報告を行い、いずれも出席者全員に異議なく承認された。続いて18年度の事業計画案及び会計予算案について説明があり原案どおり承認可決する。

引き続き会長よりOB会をより強固にするため年度幹事の強化について提案と説明があり出席者全員の承認をえる。続いて安田監督より現役の実績報告があり関西大会ベスト8で全国大会出場、関西体重別団体もベスト8で全国大会出場、今年度も両大会共にベスト8入り全国大会出場を死守すると力強い決意と報告がありました。以上で総会は終了し、場所を隣の宴会場に移してOB親睦会及び現役卒業生と新入生の歓送迎会を行う。

会長挨拶の後来賓の西岡弘先生、同窓会副会長水納様から挨拶を賜り吉田相談役の発声で乾杯を行い和やかな交流の輪が広がり時の過ぎるのを忘れるほどであった。宴の半ばで現役指導部より卒業生及び新入生の紹介があり、その後今年も昨年に引き続き関西に於てベスト8を死守し、全国大会に必ず出場するという心強い宣言があり会場中が大拍手となる。最後に逸見相談役より万歳三唱があり学歌、追遠歌、柔道部遠征歌を歌って、佐々副会長の挨拶で幕を閉じる。

会長 下垣恒彦（34回）

岡本昌夫教授
定年退職と古希を祝う会

ラグビー部OB会

平成18年3月5日、都ホテル大阪にて重森学長、体育会連絡協議会鮫島圭会長始めOB諸氏、父母会の皆様に多数ご光臨いただき盛大に祝う会を行いました。

岡本先生は47年と云う長きにわたり経大ラグビー部の監督として、又部長として、尽力いただき誠に有難うございました。

当日、日本ラグビーフットボール協会理事で関西ラグビー協会の理事長西岡保経大ラグビー部OBより経大ラグビー部の永久監督としての委嘱状が交

体育会連絡協議会
第6回総会開催

体育会連絡協議会

体育会連絡協議会会長、鮫島圭氏、18回卒）は、さる4月22日（土）同窓会ホール7階会議室で第6回総会を開き、平成17年度事業会計報告、ならび





海道栄高校宿舎へ渡辺伸一氏（60回卒）を訪ねた。

「いや、どうもお待ちしました」と控え目な挨拶。とりわけ意気込んだ様子もなく、余裕すら感じられた。大会3日目に名門早稲田実業との対戦にも「出場が決まってから一ヶ月ぐらいいし、日がありませんでした、やることはやってきました。あとは自分達の野球をやるだけです」と淡々と語る。

駒大苫小牧高校の出場辞退で急遽繰り上げ出場となったが、前身の北海道日大高校時代、春夏合わせて4度の甲子園出場を経験した古豪であり、現在の北海道栄高校となつてからも南北海道大会で2003、4年と連続して決勝に進出した実力校。いずれも全国制覇した駒大苫小牧高校の前に涙をのんだが、今大会も出場校中三番目のチーム打率三割九分三厘を誇る強打のチーム。

このチームを率いる渡辺監督は、尼崎

に体育会推薦入試枠の拡大、マナー懇談会の拡大継続などを中心とした平成18年度活動方針、さらには規約の一部改正案（表彰規定）を承認した。

総会冒頭挨拶に立った中平秀寛同窓会会長から「大学はいま勝ち残りをつけて理事長、学長が一体となって大学改革に取り組んでいる。その一つに体育会発展の疎外要因を取り除こうという機運があり、この新しい船出に、同窓会としても協力して行きたい」とし、鮫島会長からも「2006年度の大学運営基本方針の中に、スポーツクラブの重点的強化を目指し、クラブ強化費の見直しと特設スポーツ推薦入試の再検討を行なうということが盛り込まれている。私が卒業して53年になりますが、基本方針としてスポーツ振興が打ち出されたのは初めての事だ。これがどう実施されていくのか注視していきたい」と述べ、今後の学校側の取り組みに期待感を高めた。

これを受けて本総会に出席した石川茜体育会本部長（道部4回生）ら現役学生から「野球、ラグビー、サッカーといった伝統あるメジャーな運動部が体育会運営に非協力的だ。OBからも意見してほしい」とか、出席OBからは「推薦入試枠で強化クラブとそうでないクラブを分けているが、一体化して考えられないか」といった意見が出され、体育会発展に向けた意見が相次いだ。

引き続き17年度に大いに活躍した上村大輔君（アイススケート部、2回



「特別賞を受賞した上村大輔君、由良昌義君、山本和作君」

生、関西学生水上競技選手権500m、1500m優勝、2006年度JOC世界ジュニア選手権総合17位）由良昌義君（アイススケート部、4月から柏原消防署勤務、関西学生水上協議選手権1500m、3000m優勝）山本和作君（硬式野球部、2回生、関西6大学野球秋季リーグ首位打者、ベストナイン、平古場賞）の3君に、鮫島会長から特別表彰盾と記念品を贈呈した。

広報部 森川義一（25回）

劇研・早春交遊の宴

劇研青春の会

新春2月6日「劇研青春の会」を北新地料亭木曾路で開催した。

日本料理を楽しみ、14期から20期まで男女12名青春時代に戻り、華やかな談笑会となった。

梶本・本田・松本・駒刀根・伊藤・陰下・田中・箕形・中村・木下・吉村の参加を得て、宴の3時間もあつという間。劇研コンパ再来の感もあるも、それぞれの近況披露にしみじみ時の流れを感じさせられた。宴酣にて（劇研クイズ）の段となるや賞品目当てにワイワイガヤガヤ。老年会から若人会に早変わり、みんな元氣一杯頼もしい限り。やがて幕が下り一同再会を約して、粉雪降る新地を後にした。

広報部 森川義一（25回）

出身の34歳、平成元年の春、報徳学園の中堅手として出場した甲子園球児。経大野球部を卒業後、タイガー魔法瓶に就職、その後報徳学園のコーチを経て3年前から現在の監督に就任したが、学校では社会科の先生として教壇に立ち、野球部寮の寮監として部員と寝食を共にする苦学人。「甲子園は野球人にとって一種の聖地であり、それに出場できたことへの感謝の気持ちを忘れないでほしい」と、部員達に熱きエールを送る。

6回目の夏の甲子園 出場を果たした 滋賀県立八幡商業高等学校 野球部監督 池川準人氏（61回卒）

硬式野球部

学校創設120年の記念すべき年、第88回全国高等学校野球大会の滋賀県代表として甲子園出場を果たした滋賀県立八幡商業高等学校野球部監督池川準人氏（34歳を、大阪市内の宿舎に訪ねた。

「いやーどうも、ご苦労さんです」真つ黒に日焼けした監督の笑顔から、開会式を二日後に控えた緊張感はない。監督自身平成2年の第72回大会（夏）で母校八幡商業のキャプテンとして出場した甲子園球児であり、平成12年の第82回大会（夏）では恩師林監督のもと



八幡商業

選手として、監督として 二度の甲子園出場を果たした 北海道栄高等学校 野球部監督 渡辺伸一氏（60回卒）

硬式野球部

選抜高等学校野球大会の開会式を明日に控えた夕刻、大阪空港近くの北

計画し、この度現OB部員23名中12名の出席となりました。三部屋に別れ温泉に入浴した後午後6時半から宴会を始め二次会のカラオケ大会を11時過ぎまで行い、その後部屋で午前3時過ぎまで歓談した人もおられました。大学時代の思い出、お互いの近況、セカンドライフ等、話題は尽きることなく続き楽しい一日を過ごさせて頂きました。又第2回のOB会を3年後に開催することを決定し再会を約束し解散しました。

宮原琢郎（34回）



話題の尽きない楽しい夜

経研クラブ43年卒OB会

本年6月17日、18日、有馬温泉にて経研クラブ43年卒のOB会を開催しました。現在「経営経済研究部」は大学で廃部になっておりますが、一度同期のOB会を開こうと大阪在住の部員で

と、野球部長として甲子園の舞台を経験している。

そして平成13年8月、母校の野球部監督に就任し、平成16年第76回（春）と同17年第77回（春）に、滋賀県勢としても初めての連続出場を果たし、監督としても今度は3度目の甲子園。

こうした経験と実績から生まれた自信が、この余裕を生み出しているのかもしれないが「監督としての甲子園戦績は1勝2敗なんです。とにかく初戦突破が目標です」と。部員66名、女子マネージャー9名をかかえる野球部の監督であるが、普段は商業科の教諭として教壇に立つ。「社会に出たら実社会で認められる人間になつてほしい。だから野球部員にも人間性の向上を指導の基本方針にし、1に挨拶、2に整理整頓、3に時間厳守、この3つを徹底的に叩き込んできました」と。この辺にも池川監督の人間性が見え出る。甲子園での大活躍を期待したい。

広報部 森川義一（25回）

春秋会活動再開

春秋会

大学のテーマである「現場で役立つ人間力を育てる」とあるように社会で大活躍をされている同窓生を集めて発足したのが春秋会です。現役学生の目標であり誇りであり度いと思っております。今年から活動を再開し、上場企業の代表取締役の方々や自治体の長をお務めの方にお集りいただく予定です。前々理事長の井阪健一氏(19回)をはじめ在阪の方々にお骨折りいただくことになっておりますのでよろしく。上場企業以外にも多士済々でテレビで社長自ら出演のジャパネットたかたの高田明氏(37回)や四条畷市の2期目の市長に8月当選された田中夏木氏(26回)、舞鶴市の市長江守光起氏(33回)がいらつやいます。因みに上場企業の社長は8名を数えております。皆様の御健勝を祈念しております。

会長 西山昭吾(16回)

祝 生誕20周年

日立大樟会

元OB会長、田中様発足による日立大樟会は、今年で生誕20周年を迎える事となりました。私自身、まだまだ弱輩者ではありますが、OBの方々が進んで来られた道のりを迷うことなく進む事が出来る事に関し、諸先輩方の寛

大さに敬意を表す次第でございます。

学生の皆様におかれましては色々な重圧の中におかれ、ある意味私以上に大変な一面もあるかと存じますが、とにかく、今出来る事、今しか出来ない事を一つでも多く見つけ出し、学生時代を満喫して頂きたいと思っております。我々日立大樟会もこの会を後何十年も継続させるために、元氣あふれる学生の皆様が入社して来られる事を、心より待ち望んでおります。

三神光二(60回)

新年研修会開催報告

税理士大樟会



第24回新年研修会が平成18年1月14日(土)に大阪経済大学B館21号教室において開催されました。公認会計士廣田壽俊先生を講師に迎え「中小企業の会計に関する指針」と会計参

制度」をテーマにご講演頂き、会社法に

おいて導入された会計参与及びその作成すべき計算書類を作成するにあたり望ましい会計処理を示した「中小企業の会計に関する指針」について懇切丁寧にご教授頂きました。

引き続き午後5時15分より税理士を目指す現役学生とともに新年懇親会が開催され、現役学生と現役税理士との意見交換を行い、また落語家を招いての演芸ライブが行われ午後7時ごろ閉会しました。

堀田 治(48回)

税理士大樟会定期総会及び研修会開催報告

税理士大樟会



第15回定期総会及び第25回研修会が平成18年7月14日(金)にハートンホテル心斎橋において開催されました。総会に先立って午後3時より研修会が開催され、公認会計士の吉城直孝先生

を講師に迎え「M&Aと中小企業」会

社法制定によるM&Aの利用とその税務」をテーマに懇切丁寧にご教授頂きました。

午後5時より定期総会が開催され、諸議案すべて異議なく承認されました。本総会において役員任期満了による役員改選が行われ長谷川宗平前会長が再選されました。引き続き午後5時30分より懇親会が行われ午後8時ごろ閉会しました。

「写真は長谷川宗平前会長」

堀田 治(48回)

九一会総会と賀茂川べり櫻狩り

九一会中村九一郎ゼミOB会

九一会では、中村九一郎先生のお好きな櫻の満開の季節に、先生ご最良でよく散策されていました京都の賀茂川べりの川原で、櫻狩りを九一会の総会も兼ねて、平成18年4月9日(日)に先生の奥様を含めて14名の参加のもと先生の自宅近辺の京料理「西角」で開催しました。叡山電車の出町柳に午前11時に集合して、お互いに再会の挨拶を交わした後、川端通りを櫻並木に沿って先生との思い出を語りながらそぞろ歩きをし、記念写真も撮りました。その後、先生もお買い物をよくされた、出町商店街にある京料理「西角」で、先生の遺影と先生が生前大好物であった神戸の洋菓子のお供えのもとで、



九一会の旧交を深め、先生の思い出話で盛り上がり、美しい京料理を堪能して過ごしました。

中村恵信(40回)

第6回大樟教育研究会開催

大樟教育研究会

第6回大樟教育研究会(会長、真鍋一美氏)が、平成18年7月15日(土)本学G館51教室で卒業生会員44名が参加して開かれ、研究発表者の講演に耳を傾け、教育の原点にふれる質疑応答が展開され、小、中、高、養護教育に携る同窓生にとつて、中身の濃い有意義な研修会となった。

開会に先立って中平秀寛同窓会会長から「大学全入時代を目前にして各大学とも高卒者の囲い込みが急ピッチで行なわれております。本学におきましても大樟教育研究会の皆様のご努力により、17歳からのメッセージをはじめいろいろな面で成果を挙げてまいりました。さきに行なわれた和歌山支部大樟会の会合でも、一人でも多くの学生を経大へ送り込もうとおっしゃっておられました。集まっていたいた方々には、やはり経大の血が流れている事を知り感動しました」と、また来賓として出席された重森暁学長からも「いま、次ぎの4つの目標を掲げて2006年から8年にかけて第2次中期計画を推進中です。その一つは、幅広い人間の実学を身に付けた職業人を育成するため、キャリアサポートシステムを構築し、さらにクラスアドバイザーシステムを採用して出席率50%以下の学生には呼び出しをかけ、個人指導するなど、キメの細かい教育指導を目指しま

す。二つ目は、2002年に人間科学部

を創設し、社会・人文系の総合大学を目指す方針を打ち出しましたが、来春から経営学部経営学科に15名、同ビジネス法学科に50名の定員増をはかることになりました。これを契機としてビジネス法学科の創設など、全学的に学部再編も検討課題となっています。三つ目は、開かれた大学として本学の心理臨床センター、地域活性化支援センター、経営・ビジネス法情報センターなどを活用して地域社会との交流を図ります。四つ目は、自由と融和と協働の精神を、それぞれの役割の中で発揮し、本学を盛りたてて行こうと考えております」との学内近況報告があり、真鍋会長から「600数十名の教育に携る卒業生が小、中、高、短大など幅広い分野で活躍しておりますが、少しでも大学への恩返しできたらの思いで頑張っております。今後ともこの研究会が実のあるものであることを願ってやみません」との挨拶があつて研究会に

やさしさと思いやりを込めた

ホスピタリティこそ学校教育の原点

研究会では、まず川口正義先生(大阪市立住之江養護学校勤務)から「これまで商業、普通、工業高校と転勤し、この度初めて養護学校へ来ました。この学校でやさしさと思いやりを込めたホスピタリティスクールとでも云いますか、ホスピタリティこそ学校教育の原点で

あるということを見た思いです」と語り、「先生に必要な事は、まず子供が好きだということ、そして豊かな人間性を持つ事だ」と強調された。

これを受けて北村竹師先生(兵庫県立尼崎西高教諭)から「教師が変われば学校が変わるという点に感銘を受けた」とか、田口誠先生(静岡県立沼津聾学校)から「普通教育から障害教育に変わられてどう思いましたか」津田敏雄先生(堺市立湊西小学校教諭)から「養護学校を担当するようになったが、経大でも小学校の免許を取れるようにしてほしい」杉本達治先生(岬町立岬中学校)退職から「養護教育にもっと医療面の援助があつて良いのでは」村上明生先生(西脇市立西脇東中学校)から「今年から新任教頭として取り組んでおりますが、教育の原点はまさに豊かな人間性にあり、木を見て森を見ない先生はダメ」といった意見が出され、本学の北村實副学長も「人間



川口正義先生

ゼミ短信

先生方からのメッセージ

科学部で中、高の英語と体育の免許を取れるよう、早ければ来春からでも実施したい。また小学免許では他大学と連携して、在学中に取れる制度を採用しているところもあり、そのようなことも検討しなければと思っています」と話された。

また、「心理臨床センター」も開設され、この問題を解決支援するカウンセリング部門で、一般の方々を対象としている。ぜひ卒業生とその御家族にも利用して頂きたい。

変わりつつある大経大

黒木 賢一先生

昭和41年以来勤めた経大も平成16年に定年退職し、3年の特任期間も来春で終わります。皆様にはずいぶんお世話に相成り、有難く御礼申し上げます。最近の学生気質は以前とは大変り、日頃戸惑うことが多くなりました。授業に対するアンケートでも、脱線した話は歓迎されず、試験に出ることだけをバツチリと教えてほしいなど、要望されると、小中高を通じて試験だけに駆り立てられて来た学生たちに同情の念を禁じ得ません。

ご挨拶

久保田 諄先生



池田正勝先生

三気、根気、元気の三気のない教師はダメ
ついでに元北海道中札内高等学校養護学校勤務の池田正勝氏(34回卒)から「へき地教育に目覚め、38年間子供達に接する時間を与えられた事は、私の人生にとつてかけがえのない喜びであり、感謝しております」と前置きして「人気、根気、元気の三気がない教師はダメ」「笑顔に勝る化粧無し。この不思議な力を家庭や学校に取り入れてほしい」と体験から生まれた教訓の数々を語られた。



岡 泰宏先生

また岡泰宏先生(45回卒、和歌山県立那賀高校勤務)からは、学力向上プロジェクトハイスクール事業の3年間を振り返って「本校の学力向上の取り組みについて」の研究発表が行なわれた。最後に、この研究会に参加した在校生から「生徒への思いや触れ合い方など、教師という仕事の大変さを知り、教師という仕事をしたい」と、自分の今後の進路に生かしていきたい」とか「今日教員面接試験を受けてきましたが、自分は子供が好きだから教師の道を選びました」と答えてきました。いま先輩の話聞いてやほり先輩もそうだったのかと感じ安堵しました」といった感想を述べていた。

広報部 森川義一(25回)

心理臨床センター誕生

古宮 昇先生

本学に「人間科学部」が誕生したのは2002年でしたが、今年2006年4月には大学院「人間科学研究科」ができました。さらに大学院誕生と同時に、一般市民にこのケアを提供する「心理臨床センター」も本学に誕生しました。また、来年度(2007年4月)には人間科学部のカリキュラムが改革され、さらに充実した教育ができる予定です。新しい学部生・大学院生と、心理臨床センターの新しいスタッフとともに、ありがたく仕事をさせていただいています。

ナチズムの大衆宣伝について

田野 大輔先生

昨年度1年間の国内留学を認められ、存分に研究に没頭させていただいた。その間にナチズムの大衆宣伝に関する研究成果をまとめ、来年度には出版の運びとなった。また今後取り組む新たな研究テーマを設定し、予備的な調査を開始した。その1つが日本各地にあるドイツ村(ドイツのテーマパーク)の研究である。われわれの異文化表象のあり方を考える上で非常に興味深いテーマであり、今後数年間にわたりゼミで調査を行う予定である。

ゼミ短信

先生方からのメッセージ

六十路を前に

池野 しげお先生

あと2年で60歳! えらい年寄りになってしまいました。教員歴30年という、最初の学生たちはもう50歳! それでも相変わらず相手にする学生たちは20歳です! 学生はお客様だという風潮から、私とのギャップは深いです。が、じつはその溝を埋める工夫の模索を楽しんでもいます。変身しつつある髪も髭も!! 池野を見学しに、また建て替えられた学舎などを見に、是非とも出かけて来て下さい。互いの変化も楽しみです。

ペンギン子育てクラブ

市川 緑先生

地域政策学科の森詩恵先生とともに「ペンギン子育て(支援)クラブ」を作りました。第1回のイベントである「パパが主役のファミリーキャンプ」は、参加者が集まらず中止に迫り込まれましたが、今後も子育て中のパパママを対象とした講座を開催したり、地域の学校や保育所、教育センターに学生ボランティアを派遣したりして、子育てのお手伝いができればと考えております。

70歳からのメッセージ

田淵 進先生

今年の3月で定年退職になりました。もう校務の所用は免れると思っていたところ「17歳からのメッセージ」応募作文の審査を頼まれました。今年はこれまで以上に応募が多かったそう。17歳の若者が考える「これまでの自分、これからの自分」について素直な心が綴られていた。友人関係、先生の言葉、障害者との出合、外国生活の経験などから人生を真剣に考えている作品が多い。老若を問わず命を大切に豊かな人生を育てて欲しい。

芭蕉のいふ

永野 仁先生

この春定年退職して特任教授になり「文学入門」と「日本の文学」を担当しています。秋の学会で「荒海や」の句は何時何処で作られたかを発表しました。結論は7月7日、直江津です。伝説ですが、動かないと確信します。中学の恩師は「40歳を越えたら芭蕉が分かる」とおっしゃいました。私は60歳を過ぎるから、芭蕉の言葉がびんびん響くようになります。

住所は昔のまま。お便りをください。

どうぞ応援してください。

バルトン生誕百五十年

稲場 紀久雄先生

スコットランドの首都エディンバラで9月9日バルトン生誕百五十年を祝し、日本人とスコットランド人との記念碑が建立される。バルトンは、日本の環境工学の父と仰がれる人物。昨年度から派遣され、百五十日に亘ってエディンバラ等に滞在、バルトンの足跡を調査した。その成果がこのような形で結実した訳だ。再渡航を直前に控え、感無量である。折しも今日は終戦記念日。今や世界と地球を視野に収めた生き方が求められている。

専門ゼミ始めました。

片山 麻美子先生

皆さんお元気ですか。2005年の秋からゼミを開きました。第1期生は11名。現在発展途上で、試行錯誤です。うーん、難しい。それでもイギリス文化をテーマにしながら、高野山と滋賀県の慶雲館庭園にかけ、当地の講師に解説をお願いして合宿を実施しました。私の個人的興味だとののしられつつ、いやあ、これが日本の自然観の表れなのだなあ、と一人で納得しています。骨を折ってくれる学生、花火に騒ぐ姿をみると、少しうれしい。がんばります。

模擬面接会を開きます

樋口 克次先生

皆さんお元気ですか。昨年度から演習生の縦の交流が広がっており、本年度は懇親会のみならず、3年生の夏期ゼミ合宿に複数の4年生が参加し、指導してくれています。またゼミでは自己分析と履歴書の書き方を大切にしており、それを基に面談をしてきました。OBの皆さんにお願いがあるので、3年生の春(2月)に、履歴書をベースに実践的な模擬面接会を開きたいと考えています。どうか後輩のため面接者として助けてください。

平等ゼミの近況

平等 文博先生

専門ゼミ第1期生を送り出して半年。時々もうメールに、社会人になった皆さんの日々成長する姿を想像しています。2期生12人は、卒業論文の完成に向けてこれから苦難の日々です。3期生14人とは、9月後半に小豆島で2泊3日のゼミ合宿を予定。秋学期からは4期生16人が新しくゼミをスタートさせます。私も学生諸君と一緒に人間らしく共に生きる倫理を模索しています。メールでの近況報告を楽しみに待っています。

f.byodo@mx2.canvas.ne.jp
byodo@osaka-ue.ac.jp

同窓会の個人情報保護に関する基本方針

大阪経済大学同窓会は会員相互の研鑽と親睦を図り、もって母校の発展に寄与することを目的として活動しており、それに必要な同窓生の個人情報をお預かりしております。

本会は個人情報保護の重要性を十分に認識し、「個人情報の保護に関する法律」に基づき個人情報の適切な利用と安全管理のために必要な措置を講じています。今後も個人情報保護への意識向上を計り、これらの情報の取り扱いについては、細心の注意を払いながら同窓会活動を進めてまいります。何卒ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

個人情報の取り扱いについて

1) 収集および利用

本会では下記利用目的に必要な個人情報(氏名、卒年、学部、学科、ゼミ、クラブ、自宅住所、同電話番号、勤務先など)を、引き続き最大限の注意を払いながら収集し、利用させていただきます。

2) 利用目的

本会は円滑な運営を図るための事業として以下の目的に収集した個人情報を利用しています。

- ・機関誌「澁江」ならびに情報紙「KEIDAI DAYS」の送付
- ・本部ならびに地域支部及び、ゼミ、同期生会、クラブOB会などが主催する行事の案内
- ・会費徴収にかかわる案内
- ・その他上記に関連する業務等

尚、2005年3月31日をもって同窓会名簿の販売および閲覧サービスは中止しております。

3) 安全管理措置

本会で保有する個人情報については、漏洩、改ざん、消失を防止するため安全管理に努め、必要な措置を講じます。とりわけ個人情報の処理を外部委託する場合は、信頼できる会社と機密保持契約を結んだうえで委託致します。

4) 共同利用

上記事業に際してその目的達成のために学校法人大阪経済大学との間で双方の保管する個人情報の一部について共同利用します。

5) 第三者提供

同窓会員からの照会については、所定の手続きの上、原則として被照会者の同意を確認したものに限り回答します。なお、個人情報の提供を望まない場合は、所定の手続きにて事務局に届けてください。

6) 届出、お問い合わせ先

常に正確で最新の内容に保つために、個人情報の変更(転居、転職、改姓等)があった場合には、速やかに同窓会事務局まで封書郵便、電話、FAXあるいはメールにてお知らせ下さい。

同窓会事務局 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8
TEL 06-6328-2431
FAX 06-6328-4564
メールアドレス denko@osaka-ue.ac.jp

竹の子

藤本 義治先生

昨年より茨木の山奥に住んでいます。借家の裏山に竹やぶがあつて、5月にはその場所での竹の子を採りました。ちようど食べるころあいがあつて、竹の子料理の本などを夫婦で勉強し、おいしくいただきました。時期が過ぎると成長が早くかたくて食べられなくなり、この年になって自然から教えられるなんて、自分の回りをじっくり、落ち着いて見れるようになったのかなと思いました。

今年のゼミ

細井 真人先生

今年も20名のゼミ生を迎え、賑やかにゼミを行っています。ここ数年株価予測をテーマにゼミを開講してきましたが、ビジネス情報学科の学生が対象となったので、データベースシステムの開発をテーマとしました。XHTML、JavaScript、XML、PHP、MySQL、によりシステム開発を行います。卒業生の皆さんも、近くに来る機会があれば、遠慮せずに連絡下さい。

ゼミは2年生から

松本 良治先生

昨年4月からビジネス情報学科とファインナンス学科の2学科体制がスタートし、従来3年生から始まっていたゼミが、この秋学期からは2年生の必修ゼミとして始まります。ゼミのテーマは相変らず「情報通信システム」です。技術の進歩が早く、範囲もどんどん広がるので大変ですが、2年生の新鮮な発想を期待して頑張っています。

幼児の知識利用の発達

光田 基郎先生

人間科学部・教授(心理学)光田基郎です。当学関係者にご紹介いただいた保育園で幼児に電算を操作させる形式の実験を行いました。写真はその様子です。子供に不慣れな当学学生が電算を活用して、幼児の知識利用の発達の様相を理解し得る様に、今後とも微力を尽くします。



トーマス・マンの書斎

六浦 英文先生

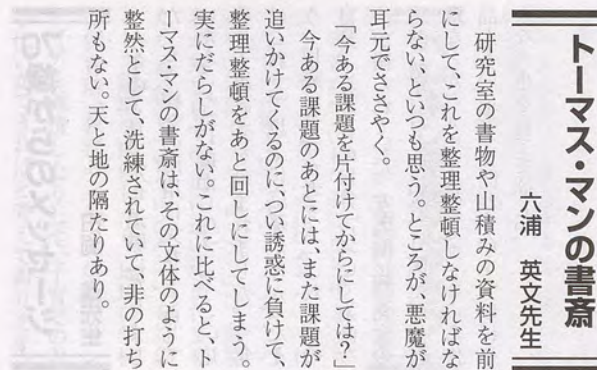
研究室の書物や山積みの資料を前にして、これを整理整頓しなければならぬ、というも思う。ところが、悪魔が耳元でささやく。

「今ある課題を片付けてからにしては？」
今ある課題のあとには、また課題が追いかけてくるのに、つい誘惑に負けて、整理整頓をあと回しにしてしまう。実にだらしない。これに比べると、トーマス・マンの書斎は、その文体的ように整然として、洗練されていて、非の打ち所もない。天と地の隔たりあり。

ミュージカル・ヨドクストーリーを見て

山田 文明先生

夏休みの一日を、ワルの劇場で過ごした。北朝鮮から脱出してきた芸術家たちが自分たちの収容所体験をもとに制作したミュージカルの公演を2回つけて見た。日本に入国した脱北者は日本語を学び、仕事を見つけたのにとっても苦労している。なかには社会生活に適応できない人もいる。韓国に入国した脱北者も同様だ。そんな中で今進行中の人権問題をテーマにした感動的なミュージカルを制作した脱北者の力に勇気付けられた。



同窓会って 何ですか？



最近同窓会の果たす役割がきわめて重要視されるようになってきております。

ただ残念な事に、どの支部総会をみても若年層の参加が少なく、高齢化が目立つようになってまいりました。

そこで「同窓会って何ですか？」にお答えし、皆様のご理解を得たいと考え企画しました。

Q 同窓会は何を目的として活動しているのですか。

A 会員相互の親睦と研鑽を図り、母校との交流・支援を通じて発展に寄与することを目的として、各種活動を展開しております。近年特に重点課題として取り組んでおります事は、学校支援であります。少子高齢化の波は大学全入時代というかつて経験した事のない大学環境に追い込まれ、国立大学として、学生確保に躍起となっている状態です。加えて経済格差の波及から経済的負担の多い地方学生を確保しづらくなり、我が母校も最近では大阪をはじめ関西地区からの入学生が7割に達する状況です。

こうした状況下で同窓会が出来る学校支援は、一人でも多くの学生を経大へ送り込み、良き社会人として迎え入れることではないでしょうか。俗に云う「入口・出口論」であります。入口では高等学校で教壇に立つ同窓生が組織する「大樽教育研究会」が中心となって大学への送りこみに意欲をみせ、出口では同窓生経営者で組織する「春秋会」がインターンシップや就職の面倒をみるという活動を展開中であります。また会員相互の親睦・研鑽では、支部活動に本部役員が協力し、その活動がより充実したものにするよう心掛けております。

Q 同窓会組織はどうなっているのですか。

A 本部（会長、副会長、常務理事、事務局などで構成）を中心に全国44支部と6団体（春秋会、体育会連絡協議会、税理士大樽会、大樽教育研究会、日立大樽会、池田銀行経友会）からなり、支部長、卒理理事を含めた理事会で活動方針を決議し、運営しております。

Q 同窓会運営費はどうなっていますか。

A 入学時に同窓会費として2万7000円、残り6000円を3年間で、合計3万3000円を学校に委託徴収してもらっています。これらの使途につきましては、同窓会誌「瀬江」の「本部だより」収支決算書に記載しておりますが、広報費30%、支部活動費15%、学対費（各種クラブ活動の支援）14%、総会費10%などとなっています。

Q 同窓会にはどんな行事があるのですか。

A 本部主催の行事では、毎年11月の第2日曜日に母校で総会を開き、全国から参加された同窓生が一堂に集う場があります。又同窓生や父兄を対象にしたパソコン教室を開校し人気を呼んでおります。各支部では講演会やゴルフ会、ハイキング、カラオケ会といった催しを企画し、親睦の輪を広げています。

Q 同窓会名簿の発行はどうなっているのか。

A 個人情報保護法の制定以来、事務局ではその適切な利用と安全管理のため細心の注意を払いながら運用を行なっております。そのため必要最小限の情報（氏名、住所、勤務先など）は収集し、利用しておりますが、従来5年毎に発行しておりました「会員名簿」の発行はしないことになりました。

Q 同窓会は何を目的として活動しているのですか。

A 会員相互の親睦と研鑽を図り、母校との交流・支援を通じて発展に寄与することを目的として、各種活動を展開しております。近年特に重点課題として取り組んでおります事は、学校支援であります。少子高齢化の波は大学全入時代というかつて経験した事のない大学環境に追い込まれ、国立大学として、学生確保に躍起となっている状態です。加えて経済格差の波及から経済的負担の多い地方学生を確保しづらくなり、我が母校も最近では大阪をはじめ関西地区からの入学生が7割に達する状況です。

こうした状況下で同窓会が出来る学校支援は、一人でも多くの学生を経大へ送り込み、良き社会人として迎え入れることではないでしょうか。俗に云う「入口・出口論」であります。入口では高等学校で教壇に立つ同窓生が組織する「大樽教育研究会」が中心となって大学への送りこみに意欲をみせ、出口では同窓生経営者で組織する「春秋会」がインターンシップや就職の面倒をみるという活動を展開中であります。また会員相互の親睦・研鑽では、支部活動に本部役員が協力し、その活動がより充実したものにするよう心掛けております。

Q 同窓会組織はどうなっているのですか。

A 本部（会長、副会長、常務理事、事務局などで構成）を中心に全国44支部と6団体（春秋会、体育会連絡協議会、税理士大樽会、大樽教育研究会、日立大樽会、池田銀行経友会）からなり、支部長、卒理理事を含めた理事会で活動方針を決議し、運営しております。

Q 同窓会の広報活動はどうなっていますか。

A 同窓会活動をよりフェアに、よりクリーンにするために「何をやっているのか」を迅速に、明確に伝える事が第一であると考えております。このため従来同窓会誌「瀬江」しかなかった情報伝達機能を、同窓会ホームページの開設、学校の機関誌「ケイタイデイズ」（年3回発行）に「同窓会だより」（1頁）を新設し、できるだけ多くの活動状況をお伝えしようと努めております。ぜひ情報の交流のためホームページの「掲示板」も活用ください。

Q 最近支部総会に出かけても若者の参加が少ないという声を耳にしますが。

A ご指摘のように、若年同窓生の集まりが芳しくありません。同窓会活動の最大の目的は、親睦と研鑽であります。参加することによってコミュニケーションの輪が広がり、そこからビジネスチャンスが生まれる。これ無くして意味がありません。このため各支部ともいろいろなイベントを企画し、皆さんの参加をお待ちしております。ぜひ、お近くの支部総会に顔を出してください。

Q 引越・改姓したときはどうしたらいいですか。

A 同窓会事務局までご連絡ください。
電話 (06) 632812431
メール denko@osaka-ue.ac.jp

本部だより

平成17年度収支決算書 自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日 (単位:円)

収入の部			
科	目	決算額	予算額
前期繰越金		16,988,782	16,988,782
会費収入		60,076,000	57,000,000
総会収入		872,000	800,000
利息収入		336,389	100,000
澱江収入		532,910	500,000
名簿収入		35,580	0
雑収入		20,000	0
合 計		78,861,661	75,388,782

支出の部			
科	目	決算額	予算額
総会費		5,426,754	6,000,000
役員会費		1,921,117	2,000,000
支部費		8,476,799	9,000,000
事務局費		934,331	1,000,000
人件費		6,050,000	7,000,000
旅費交通費		3,487,750	4,500,000
広報活動費		17,120,021	19,000,000
名簿調査費		539,100	700,000
学対費		6,736,148	11,600,000
諸会助成費		915,880	1,500,000
慶弔費		237,570	700,000
特別基金繰入金支出		10,000,000	10,000,000
予備費		0	2,388,782
次期繰越金		17,016,191	0
合 計		78,861,661	75,388,782

平成18年度収支予算書 自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日 (単位:円)

収入の部			
科	目	予算額	摘要
前期繰越金		17,016,191	
会費収入		59,500,000	
総会収入		890,000	
利息収入		310,000	
澱江収入		600,000	
名簿発行積立金取り崩し		16,003,045	
合 計		94,319,236	

支出の部			
科	目	予算額	摘要
総会費		5,500,000	
役員会費		1,800,000	理事会・常務理事会・各分会
支部費		9,000,000	運営費・支部総会援助
事務局費		1,000,000	事務局人件費
人件費		6,750,000	
旅費交通費		4,000,000	
広報活動費		18,000,000	
名簿調査費		550,000	
学対費		8,500,000	大学祭・クラブ活動援助 他
諸会助成費		1,200,000	諸会援助
慶弔費		500,000	
スポーツ・学術振興繰入金支出		4,995,122	
特別基金繰入金支出		29,148,234	
予備費		3,375,880	
合 計		94,319,236	

「自らの購読料で『澱江』を育てよう!」を合言葉に、昭和59年度からスタートしました『澱江』購読料は、お陰さまで深い御理解とご協力をいただき、感謝いたします。

編集者一同は、このご声援に応え、親しまれる『澱江』を目指し、頑張っておりますので、引き続き購読料へのご協力のほど、よろしくお願いいたします。
(ご送金は、同封の振込用紙をご利用ください。振込手数料は不要です。)

『澱江』購読料のお願い

同窓会ホームページもご覧ください!

同窓会活動をより身近なものとして活用していただくために、HPを作成しました。年間行事予定などがあり、住所変更の申請も手軽にできるようになっています。休止していましたが掲示板が復活しましたのでご活用ください。ご活用いただきご意見、ご感想をお待ちしております。

HPアドレス <http://www.osaka-ue-denke.com>



理事会報告

平成18年度理事会

支部活動活性化へ「支援部」

提案、質疑 活発に

同窓会では、6月24日(土)、本学50周年記念館で平成18年度同窓会理事会を開き、平成17年度事業報告、収支計算書を承認、平成18年度事業計画ならびに収支予算案を承認、同窓会活動の活性化を図るため「支援部」の創設と規約の一部改正を承認した。

理事会では、まず挨拶に立った中平秀寛同窓会会長から「昨今同窓会は学校支援が主流になってきています。大学を取り巻く環境は大きく変わり、近畿一円で学生の取り合いが始まっています。そこで同窓会の取り組み、とりわけ入口、出口論でありますが、まさに和歌山の経大卒の高等学校の教諭約20名の会合に顔を出させていただきました。ここで自分の学校から1名でも多くの学生を経大へ進学させるよう努力しようという力強い言葉をいただきました。同窓会と一体となつて尽力いただきたいと思っています。もう一点は支部の活性化であります。各支部で開かれている支部総会に参加の同窓生が減少し、特に若い世代の方の参加がないというのが問題です。ここは本部と連携をとり、知恵を出し合っていく必要があると思います。今

年はこの2点に重点を置いた活動を展開してまいりたいと考えております」との、力強い挨拶がありました。

つづいて議長に水納敏也氏(25回卒)副議長に大畑年範氏(51回卒)を選出、1号議案の平成17年度事業報告ならびに収支計算書を承認、2号議案の平成18年度事業計画案(小谷総務部長、森川広報部長、津秋組織部長から報告)ならびに収支予算案(中村財務部長が説明)、3号議案の支部活動の活性化のための「支援部創設」と会則の一部改定(常務理事会等への出席交通費を実費とする)の件をそれぞれ承認した。

この間、「さきの70周年記念募金で同窓会の募金件数が2629件と聞きましたが、7万余人といわれている卒業生のわずか3%しか寄付行為を行っていない。母校に対するモチベーションの低下は何かを考えるべきだ。また支部活動の強化は、いかに地域に根ざした活動を行うかだ。そのため支部の事務機能を強化すべきだ」(31回卒、山崎敏輝氏)、「学対費に予算と実績に大きな差があるのは何故か」(12回卒、斎藤満氏)、「北浜のサテライト教室開校にあたっては、私ども税理士大樟会のメンバーも協力させていただきました。大学当局の期待に応えるよう努めていきますが、我々の組織も同窓会組織の一端を担っているわけですから、同窓会事務局を通じて話を持ってくるようにしてはどうかでしょう」(税

理士大樟会会長、長谷川宗平氏)、「ホームページの掲示板についてですが、支部独自のID、パスワードで自由に支部活動を伝えられるように出来ないのか」(野崎邦男高知支部長)、「各支部長や学校の校長が推薦すれば入学できる推薦制度を同窓会としても考えてもらいたい」(春秋会会長、西山昭吾氏)、「50回卒辺りから理事不在のところが見受けられる。卒回理事の選出方法に問題はないのか」(26回卒、高田修志氏)など、熱のこもった提案や質疑応答が続いた。

引きつづいて第2部に入り、北村實副議長から「このたびの経営学部の新員増(認可申請中)は、つぎの法学系学部創設につながる布石となるものと考えております。大学間の受験生囲い込みは急激に激しさを加えてまいりました。今後同窓会関係と一致協力して知恵を出し合い、取り組んでいきたいと考えております」との挨拶があり、河井保雄入試部長、藤原広太郎進路支援センター課長からそれぞれ学内近況報告が行われた。

盛り上がった懇親会

その後7階の同窓会ホールに場所を移して懇親会に入ったが、ここで19回卒の山中良夫理事から「準硬式野球部が近畿大学リーグで優勝し、関西地区予選を勝ち抜き、8月25日から石川県で行われる第58回全日本大学準硬式野球選手権に出場することにな

った。この大会での活躍を皆さんと期待したい」と明るい話題の提供があり、懇親会も大いに盛り上がりを見せた。



活躍する 同窓生2世代対談 女性たち。

キャンパスに一歩足を踏み入れると女子学生の姿がやたら目につき、華やいだ雰囲気。ひと昔前の学園風景とは違う。「3割近くいるのかなあ」と学生部に尋ねると、7月4日現在の在学生7224名の内1183名、16・4%、大学院生も148名の内18名、12・7%を占めると言う。本学はもともと女子学生とは縁が深い。戦前の昭和19年に大阪女子経済専門学校となり、同22年と同23年には大阪経済専門学校として13回生145名、14回生148名の女子学生を世に送り出している。この中には現役の公認会計士や税理士、あるいは大学教授として活躍中の方もおられる。そこで今回は教育者の資格を取得し、若人の教育に日夜情熱を燃やしておられるお二人にご登場いただき、その活躍ぶり、その心意気を、在学中の女子学生にも伝わればとの思いから話を伺ってみた。

人間としての基礎部分が幼児教育。自律“とは何かを子供に教えています。”



清重弘子氏
(昭和49年経営学部卒)

徳島県名西郡出身・徳島県立名西高校を経て、昭和45年大阪経済大学経営学部に入學、同49年3月卒業後徳島新聞の関連会社、現在の「エアトラベル徳島」に入社、同57年社会福祉法人、石井福祉会「さくら保育園」に移り、現在その園長を勤める。趣味は読書。

松岡麻起子氏
(平成8年経営学部卒)

兵庫県神戸市出身・神戸市立兵庫商業高校を経て、平成4年大阪経済大学経営学部経営情報学科に入學、同8年3月卒業後神戸市立神戸商業高校の講師として教壇に立つ。3年後の平成11年兵庫県立篠山産業高校丹南校の教諭となり、同18年春現在の兵庫県立伊川谷高校に転勤、情報処理関係の授業を受け持つ。趣味は料理。



志を持った学生たちを、一人でも多く大経大へ送り込みたい。

父の薦めで保育士資格を
——まず、ご両人にお伺いしますが、就職の道を選ばれたいきさつから：
清重 私の場合、最初から就職の道を選択していたわけではなかったのです。昭和45年大阪万博の年に徳島から大阪に来ました。当時、日本は東京オリンピック開催、新幹線開通と活気に溢れておりましたが、大阪も東京をしのぐ勢いで活況を呈しておりました。ただ、卒業の年は前年の第一次オイルショックの余波を受けて就職活動は大変でした。
——どうされたのですか。
清重 新聞社に入りたくて、地元の徳島新聞社を受験したのですが、第一希望をかなえられず、結局子会社の旅行会社に就職、ここで8年間旅行業だけでなく、いろいろなことを勉強させてもらいました。たとえば、社長は親会社の役員を兼ねていたからかも知れませんが、テレビに代表される画像情報の台頭から活字文化を危惧し、明石大橋の開通が必ずしも徳島の経済に利益をもたらさないとよく云っておられました。当時はこうした経営者としての先見性を、私共生活者の視点でしか考えられない者にとつて理解しがたいものでしたが、多岐にわたる視野を持ち合わせていて、すごいなあと、今になって思い知らされました。そのような

事務局だより

本部役員一覧

2006.11.20現在

氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回	氏名	役職	卒回
中平 秀 覧	会長	25	片山 剛 征	広報部	36	山内 淳 子	監事	47
小谷 芳 男	副会長・総務部長	24	梅原 猛	広報部	62	磯野 齊	名誉会長	3
森川 義 一	副会長・広報部長	25	市原 幸 恵	財務部	42	隈下 嘉 典	相談役	16
水納 敏 也	副会長	25	二宮 勉	財務部	65	田中 富 三	相談役	18
津秋 靖 博	副会長・組織部長	29	斎 貞 文	組織部	30	南部 俊 一	顧問	11
中村 敏 啓	副会長・財務部長	31	福地 利 仁	組織部	39			
佐藤 武 司	関連推進部長	30	神田 博	関連推進部	30			
竹中 亨	事務局長	32	藤原 広 太 郎	関連推進部	54			
宇藤 博 文	総務部	28	植村 祐 三	監事	32			
南 正 治	総務部	43	大西 健 介	監事	35			

支部長一覧

2006.11.20現在

支部名	氏名	卒回	現住所	電話	E-mail アドレス
北海道	藤岡 忠 鷹	24			
東北	藤本 尚 繁	34			
関東	重松 隆 夫	23			
中部	柚木 隆 夫	21			
近畿	石橋 和 一郎	32			
中国	長崎 磯 田	29			
四国	磯田 明 田	26			
九州	英 正 村	25			
徳島	村 成 公 和	38			
香川	南 三 好	27			
高松	福地 利 仁	35			
愛媛	三 福 地	39			
高知	石川 裕 生	28			
福岡	青木 昭 一	34			
佐賀	中 車 野	27			
大分	堀 本 修	24			
熊本	小谷 芳 男	24			
鹿児島	進 木 仲 次	33			
沖縄	下 土 井 康 晴	25			
北海道	廣 野 義 直	34			
東北	佐 藤 武 司	30			
関東	永 森 井 口	19			
中部	竹 内 鐵	32			
近畿	西 本 通 弘	34			
中国	宇 藤 集 博	23			
四国	山 藤 文 一	28			
九州	浅 山 林	35			
徳島	小 野 隆 一	22			
香川	竹 本 巧 幸	35			
高松	小 池 勝 章	37			
高知	北 谷 幸 人	32			
福岡	小 林 孝 敦	32			
佐賀	小 野 樹 男	31			
大分	小 野 三 陽	26			
熊本	小 野 陽 一	32			
鹿児島	小 野 陽 一	52			
沖縄	小 野 陽 一	40			
北海道	小 野 陽 一	35			
東北	小 野 陽 一	23			
関東	小 野 陽 一	16			
中部	小 野 陽 一	18			
近畿	小 野 陽 一	37			
中国	小 野 陽 一	29			
四国	小 野 陽 一	28			
九州	小 野 陽 一	32			



やる奏曲部は比較的女性の多いクラブでしたが、それでも男子主体のクラブ活動でしたね。18才で大阪に出てきて着物すら自分で着られないという状態でしたから、単に茶道というだけでなく、自分のものは自分でかたづけるといった本来家庭で教わるような事を先生に教わりましたね。

幼児教育の大切さを痛感

いま保育園で一番感じておられる事は…

清重 いま世間で子供の痛ましい事件が相次ぎ、世の中が大変荒れているといわれています。幼児教育が学校教育に繋がり、社会人になっていくわけですから、その基礎の部分、つまり幼児期におこなうなければならない。しっかりとっておかなければならない。立つ方の自立と律する方の自律とは何か

を、子供ならではの言葉でちゃんと教えたいと思ってやっています。挨拶しましょう、ハイと返事をしましょう、お靴はそろえましょう、背筋はちゃんと伸ばしましょう、ということをやっているのですが、新入職員が来た時も同じことを言っているんですね。(笑)

松岡 私達の時は、皆で一緒にしましょうね、ということをやつて来たと思うんですが、それが好きな事をやりなさい、という自由保育に変わった時期がありましたよね。だから自由保育で大きくなった子供は、高校にきてても少し協調性に欠けるように思います。

清重 ある時期保育を取り違えていたことがありましたね。つまり全てを大人が決めてしまおうのではなく、もっと子供の主体性を大切にしようというのが本来の自由保育なのです。

民間の保育所は自由と責任の棲み分けはしていません。

松岡 全体的に自由保育に流れていたのかなと思っていましたが…

清重 そうではなかったと思いますね。人も物も大切だし、自然も大切ですよ。自分の気持ちを大切に思える子供は、お友達にも配慮ができます。でも、自尊感情が乏しい子供はそんなことをしたらダメといわれると、行為を注意されているのを、自分自身の存在を否定されたように思い、相手をいじめたりする等の反社会的な行動をしてしまうという流れになっていく。

松岡 そういう事に少なからず影響を受けて大きくなっている。つまり高校生にまでなっている子供に、この問題でどれくらいかわれるか、大変難しい問題ですね。

——家庭内で親子のコミュニケーションが取れていなくて問題が起るケースも多い。松岡さんはいま担任をお持ちですか。

松岡 今年変わったばかりでいまは持っています。

——数年前から総合教育という名の学習時間が割り当てられ問題になっていました。

松岡 結局基礎の部分が来ていないので、「調べなさい」と云っても如何にして調べたら良いのか判ら

ない。辞書を使った事がないとか、調べるための工夫をするという点が足りない。調べてもそれを検証するところまでの術がないというのが実情です。

——最後に経大に対してどう思うか、望むところがあれば…

清重 時代の要請にあった学部をつぎつぎと創設され、発展を遂げ続けておられる事に満足し、有難い事だと思っております。

松岡 今教師として仕事ができるのも、大学でご指導をいただいた先生方のおかげと感謝しております。これからは志を持った学生を、一人でも多く大経大へ送り込むよう頑張りたいと思っています。

——長時間どうもありがとうございます。お二人の益々のご発展を祈念しております。



時に、父が地域のための幼児教育をやりたいと言いつし、私は旅行会社を辞め、徳島文理大学短期大学保育科に入学、ここで2年間勉強して保育士の免許を取得、現在約40名の職員を抱える「さくら保育園」の園長として幼児教育に従事しているところです。

高校時代から商業学校の先生に

松岡さんは…

松岡 私は学校を出たら働きたい、働くなら商業学校がいいだろうと神戸市立兵庫商業高等学校へ進学しました。最初は簿記がまったくわかりませんでした、なんとかついていけるようになりました。学校では生徒会役員としていろんな行事に参加し、リーダー活動も活発にするようになり、新入生オリエンテーションにも積極的に取り組んでいたこともあって、将来働くなら商業学校の先生になろうと思うようになりました。

大経大への進学は…

松岡 大経大出身の先生からの薦めもありましたが、当時商業科推薦で面接と小論文で受験できましたので、経営学部経営情報学科の2期生として入学しました。入学前に学校訪問というのがありまして、現在のF館の校舎に入った時、コンピューター

が整然と並びIT設備と教室の雰囲気が入って大経大の入学を決め、ここで商業学校のIT情報処理教育を身に付けようと勉強しました。もともとコンピューターを使つての授業は、画面とにらめっこですから、先生の顔を見る事が少なかったため、先生の顔をあまり覚えていません。それに大学に入ってから神戸市の野外活動に積極的に参加し、教師への道を追い求めていました。

資格は取れても実際の採用試験を突破するのが大変なものでしょう。

松岡 平成8年に卒業して3年間神戸商業高等学校で講師として勤めてきましたが、結局神戸市での教員採用の夢は実現せず、教諭としてスタートを切ったのは兵庫県立篠山産業高校丹南校という学校でした。ここで7年間、そして今年4月に兵庫県立伊川谷高校に転任、ここで情報処



理などを教えています。

茶道三昧の学生時代

清重さんの学生時代はどうでしたか。

清重 私は4年間茶道部に入つて、お茶やお花などの指導を受けておりました。菊田先生が顧問で、中島先生が裏千家と未生流の指導をして下さり、よくご自宅まで習いにも寄せてもらいました。春には新入部員の歓迎茶会があったり、大学連合の大茶会があったりして楽しかったですよ。

——当然男子学生もいるんですよね。

清重 当時は学校自体がそうであるように、部員のほとんどが男子学生でした。1学年に2、3人の女子学生しかいませんでしたので、その確保が大変でした。尺八やお琴などを

創業百周年をバネに 日本のモリタから 世界のモリタへ

株式会社 モリタ 代表取締役社長
中島 正博 氏 (38回卒)

平成18年6月末の株主総会後の役員会で消防車のトッブメーカーであり、現在では防災、環境事業を中心にグループ全体で年間450億円の売り上げを誇る(株)モリタの代表取締役社長に就任した。

5月の連休前に新村鋭明会長兼社長(現会長)から突然、後継を命ぜられたという。末席の取締役から先輩役員6人を追い越しての抜てき人事。「私が社長をやるなんて思ってもいませんでしたので、正直言って戸惑いもありました。それに創業者森田正作が、日本で初めて消防ポンプを世に送り出して来年で100周年を迎える。この節目の年に、社長のポストを引き受けるということは、大変なプレッシャーを感じておりますが、私はこれまでもモリタを変えたいと考えていました。この100周年をモリタ改革の起爆剤として、日本のモリタから世界のモリタへとカジ取りしていきたいと思います。」

「たいと思っています」と、抱負を語る。そんな彼の学生時代は、いまでは想像もつかないドラマーだった。経大に入学して間もない頃、誘われるままに軽音楽部の門をたたき、楽器はドラムを担当した。「当時の経大の軽音楽部はすばらしい活躍をしていました。私が1年生の時、4年生が全日本大学対抗バンド合戦でハワイアンとデキシード部門で1位になったんですよ。卒業してからはドラムとは無縁になりましたが、楽しい思い出をさせてもらいました」と、無心でドラムに取り組んだ青春時代を懐かしむ。

日本経済が高度成長の波に乗って躍動していた頃、彼も就職戦線にいた。「就職を考えました時、2つのことを考えましたね。ひとつは大阪出身の私としては本社が大阪であること、そしてより安定した自治体ベースの仕事をしている企業と決まっていたんです。そしたら学

事業部門も要員のスリム化や部品調達・設計の見直しによるコスト削減など合理化の推進で黒字転換させ、これまでのモリタのイメージを一新する下地は整いつつある。こうした環境の変化に対応できる後継者として出番がやってきたのだ。

「創業百周年を迎える2007年秋には新設中の兵庫県三田市の工場に消防自動車を生産・技術・開発の機能を集約し、より一層、人と地球の安全を求めたモノづくりを目指したモリタへと生まれ変わらせたい」と意欲を見せる。

現在は千葉県在住の奥さんとお嬢さんの3人暮らしだが、「月の内半分は大阪暮らしを余儀なくされる」とか。「スポーツは好きで、高校時代はラグビー、現在はゴルフですね」と。元氣一杯のこの若さが魅力。

昭和25年2月3日生まれ、大阪市出身、昭和43年3月大阪府立枚方高校卒、同47年3月大阪経済大学経営学部卒(大槻ゼミ)、同年3月森田ポンプ株式会社に入社、平成13年1月環境事業本部副本部長、同15年4月執行役員、同10月環境事業本部部長兼事業統括部長、同16年5月ポンプ事業本部海外事業部長、同6月取締役、同7月海外事業部長



写真：日刊工業新聞社提供

ズームアップ！ 経大人

平成18年6月、錦帯橋でお馴染みの岩国市の助役に起用された。今年の3月岩国市と周辺7町村が合併し、新生岩国市がスタートしたばかり。「面積が220平方キロから870平方キロに約4倍、人口が約10万人から15万人へ、市職員が1000人から15000人へと急増しました。それらの市町村には合併前から当然将来に向けた設計図があったわけですから、それらの調整が大変ですし、もっと難しいのが現在110名おられる市議会議員さんが、秋の選挙で34名になった。この対応も大変ですね」と、職員との一体感を高め、地域との連携を図るための苦労は、まだこれからといった感じ。

さらに市長の女房役としてはもっと頭の痛い話がある。在日米軍再編の見直しによる厚木基地からの米空母艦載機受け入れ問題がそれ。地元住民の意向を受けて受け入れ反対を表明している市長と、早期実現を迫る国側との間に立って、どう調整役を果たすのか、彼の手腕に期待がかかる。そんな彼も学生時代は青春を謳歌した。「大学に入ったからには何か身に付くものをやろうと、簿記研究会に入部した。当時研究会のメンバーはよく勉強していました。ここで簿記検定3級までは頑張ったのですが、2年生で挫折。3年からは池内ゼミで同級生の東さん(現在税理士で活躍中)らと、他の大学とのゼミ対抗などに顔を出したりして勉強しましたね。それに下宿が吹田でしたので、関大や関学の学生とマージャンや酒盛りをして楽しんだものです」と、当時を懐かしむ。現在は奥さんと2人暮らしですが、長男で甲子園野球部の息子(現在慶応大の野球部で活躍中)さんの成長を楽しみにしておられる。

岩国市の 助役に就任した

山口県岩国市 助役
大伴 國泰 氏 (35回卒)



昭和21年5月生まれ、60歳、岩国市出身、昭和40年山口県立岩国高校卒、同44年大阪経済大学経営学部卒、同46年4月岩国市職員となり、54歳で企画部長、55歳で総合政策部長、56歳で総務部長、そして今年特別職の助役に就任。趣味は魚釣り、旅行。

矯正教育功労で瑞宝双光章を受章

ZOOM UP KEIDAIJIN

永原 康男 氏 (19回卒)



昭和5年3月10日生まれ、76歳、和歌山県出身、昭和23年3月現在の大阪外国語大学英米科修了、同26年3月現天理大学フランス語科卒業、同28年3月本学経済学部卒業、同29年アメリカ銀行大阪支店入社、同56年同行依願退職。この間昭和40年8月和歌山刑務所篤志面接委員を委嘱され、同52年12月から和歌山高等美容学校理事長、平成17年9月から同学校校長を務めるなど多方面に現役で活躍中。

平成18年春の叙勲で矯正教育での永年にわたる功績が認められ瑞宝双光章を受章された。

永原氏は昭和28年3月経済学部を卒業後、アメリカ銀行大阪支店に就職、同行輸出為替課長、融資課長を歴任、同56年に依願退職しましたが、昭和52年から和歌山高等美容学校の理事長に就任、平成17年9月からは同学校校長を務務するという経歴の持ち主。

昭和40年に法務省から和歌山刑務所の篤志面接委員の委嘱を受け、落語家の桂文福さんと共に41年間矯正教育にたずさわってこられた。「和歌山刑務所はご存じのように女性の被収容者がかかえる刑務所で、彼女らの抱える悩みや、将来の生活設計などの問題解決や心情の安定を図るうえで、専門的な知識や豊富な経験を持った民間人が協力するというのが、より効果的という場面が少なくありません。地味なボランティア活動ですがまだまだ元気です。生涯現役」と、やる気満々で、現在も大阪矯正管区内篤志面接委員協議会理事、和歌山刑務所篤志面接委員協議会会長の要職を務めご活躍中。

熱心な青少年育成活動で瑞宝双光章を受章

ZOOM UP KEIDAIJIN

荒木 登久次 氏 (23回卒)



昭和8年8月25日生まれ、73歳、大阪府池田市出身、大阪府立池田高校を経て本学経済学部へ入学、昭和35年卒業後川西市役所に就職。平成5年に市役所を退職したが、この間昭和40年から保護司として更生保護事業に従事し、(社)川西市シルバー人材センター(常務理事)や(学)多田清和学園平野幼稚園事務局長などの要職を務め、現在も地域の奉仕活動に精を出しておられる。

池田支部所属の荒木登久次氏(23回卒)が平成16年秋の叙勲で瑞宝双光章を受章された。

荒木さんは昭和36年に川西市役所に就職して以来、福祉事業に携わっていたこともあって同40年5月法務大臣から保護司を委嘱され、以来40余年の永きにわたって保護司活動に従事、この間多数の保護観察対象者を担当、熱心な処遇活動を通じて多くの非行少年や暴力団関係、麻薬常習者などの犯罪者を改善更正に導いてこられた。

また、法務省が主唱する「社会を明るくする運動」などの犯罪保護思想の啓発や地域における環境浄化、青少年健全育成に大きく貢献されたほか、川西地区保護司会副会長として会の運営や保護司会活動の充実発展に貢献されている。現在も農業に従事しながら地域の各種団体(JA、寺院、神社、自治会等)の役員として奉仕活動が続けられているが、「保護観察の対象者だった人達から、元気で頑張っている。結婚した、子供ができた」など、便りをもらうと当時の苦労も吹っ飛び嬉しいものです」と、今もお元気で更生活動にも精を出しておられる。

献身的な更生保護活動で藍綬褒章を受章

ZOOM UP KEIDAIJIN

苗代 壽子 氏 (14回卒)

(旧姓：井上)



昭和23年3月本学の前身大阪経済専門学校を卒業後、大阪市立瑞光中学校で教壇に立つ。結婚後教職の道を遠ざかることになるが、同38年から39年にかけてふたたび大阪市立旭中学校、同十三中学校で非常勤講師を勤める。その後昭和46年から平成13年に定年退職するまで、保護司として更生・保護活動に従事し、現在も更生保護法人大阪府更生保護協会理事などの仕事を通じて非行や犯罪のない明るい社会づくりに貢献しておられる。

平成13年11月3日、長年にわたる更生保護関係団体の要職にあつて、その運営に尽くし、よく更生保護活動に寄与したとして藍綬褒章を受章された。

苗代さん(14回卒)は、戦後間もない昭和23年母校を卒業後、大阪市立瑞光中学校の教諭として教壇に立たれたが、結婚を機に退職。その後お住まいの箕面市で行っておられた地域婦人会会長など地域活動が縁で、昭和46年から平成17年の定年で身を引くまで、保護司として、また、その間更生保護婦人会会長として箕面から大阪・近畿へと活動の輪を広げて、更生保護活動の充実・発展に尽力された。「時代の激しい変遷によって、非行や犯罪の凶悪化への歯止めのかからない現況に心が痛みます。非行や犯罪のない明るい社会づくりを目指して、継続してきましたミニ集会や挨拶運動、パトロール、子育て支援などの活動が、次の世代にも引き継がれるよう努力していきたい。さらに戦中、戦後の物の乏しい時代を経験した年代の私たちは、豊かさへの感謝の心、お互いに支えあい、助け合って生きていくことの大切さを伝えていきたいと思っています」と、今後の抱負を語っておられた。

飲食業界発展に寄与し旭日単光章を受章

ZOOM UP KEIDAIJIN

太田 一澄 氏 (17回卒)



昭和2年10月5日生まれ、79歳、大阪府市住之江区出身、昭和26年3月、本学経済学部卒業後、家業のぜんざい屋「喜与福」に入社、同45年ぜんざい屋を廃業して心斎橋商店街で喫茶店とギャラリーを営み出資。この間昭和42年9月大阪府飲食業環境衛生同業組合理事に就任以来、同63年5月から同組合副理事長など要職を歴任、業界発展に寄与。

平成16年11月永年にわたる飲食業界の発展と地域文化振興に貢献した実績を認められ、旭日単光章を受章された。

太田さんは、戦後の余韻覚めやらぬ昭和26年3月、本学を卒業してお祖父さんが大阪ミナミで開業した「ぜんざい屋」「喜与福」に入り、当時「びつくりぜんざい」として大阪市民に親しまれていた家業を継がれた。ただ、大阪心斎橋界隈も時代の変遷を経て急ピッチで変貌し、昭和45年の大阪万博を機に「ぜんざい屋」の「のれん」をたたみ、心斎橋筋商店街で喫茶店とギャラリーの経営に乗り出した。

以来、頼まれれば嫌と云えない性格から、いろいろな要職を務めてこられたが「これまでに大阪府知事、市長、厚生大臣表彰などを受賞し、さらに旭日単光章叙勲の栄に浴することが出来ましたのも、大阪府飲食業生活衛生同業組合の田中理事長さんをはじめ関係各位のお蔭と深く感謝しております。これからは少年指導委員(南地区分会長)などを通じて地域の安全と発展に努め、ご恩返しをさせていただきます」と、語っておられた。

そして太田さんにはもう一つの顔「フォトグラファー」としての活躍も見逃せない。平成18年10月カナダ・モントリオールで開かれた国際芸術祭に、自信作「裏町」を出品。「二科会会友として、これからは地域の文化振興に寄与したい」と、やる気満々。

地方自治に尽力した功績を認められ藍綬褒章を受章

ZOOM UP KEIDAIJIN

新田 和弘 氏 (32回卒)



昭和17年10月27日生まれ、64歳、和歌山市出身、大阪府立三国丘高校を経て本学に入学、昭和41年本学経済学部を卒業後、和歌山県立海南高校の非常勤講師、同43年4月から和歌山県立笠田高校の教諭として教壇に立つ。昭和54年から和歌山市議会議員3期、県議会議員4期を勤め、現在も地方自治に精力的に取り組んでおられる。

平成16年11月、和歌山市議会議員3期12年、同県議会議員4期13年の長きにわたって、議員として地方自治の発展に尽力した功績を認められ藍綬褒章を受章された。

新田さんは、昭和41年4月本学を卒業後、和歌山県立海南高校(定時制)の非常勤講師として教職の道に進み、翌年同校の教諭、43年4月から48年11月まで和歌山県立笠田高校(全日制)で教壇に立たれた。この教職の経験を地方自治の行政に生かそうと、昭和54年4月和歌山市議会議員に初当選し、以来市議会議員3期、平成3年4月から県議会議員として4期、この間県議会総務委員長、和歌山県監査委員などの要職を勤め、現在も県議会文教常任委員、予算特別委員、防災等対策特別委員として活躍しておられます。

「25年間の長きにわたり市政ならびに県政に参画させていただいたのも、現在の木村知事初め、県当局の皆様や多くの方々のご指導、ご鞭撻の賜と深く感謝しております。これからは、議員は民衆の奉仕者である」との言葉をモットーに、県民の皆様のために尽力して参りたいと存じます。また、現在同窓会和歌山支部の事務局長を仰せつかっており、同支部の更なる発展のため皆様と協力して頑張っていきたいと思っております」と、抱負を語られた。

調停委員としての実績が認められ藍綬褒章を受章

ZOOM UP KEIDAIJIN

山形 武 氏 (25回卒)



昭和10年4月19日生まれ、71歳、大阪府池田市出身、昭和34年3月本学を卒業後、近畿大学大学院を経て池田市役所に就職。水道部総務課長を最後に同市役所を退職、昭和50年6月から山形税理士事務所を開設し、税務業務に従事しつつ家事調停委員として活動しておられる。

池田支部の山形武氏(25回卒)が、平成17年4月、家庭の紛争、家族の相続問題などの調停委員としての実績が認められ、藍綬褒章を受章された。

山形さんは、昭和34年本学を卒業され、勤務先の池田市役所では、水道部総務課長を最後に同市役所を退職、昭和50年6月税理士事務所を開業された。

市役所在職中に税理士資格を取得されるという努力家ですが、「人間人との出会いが大切とよく言われますが、現在の職業の指針となったのは、経大喜田先生(公認会計士のゼミでのご指導によるもの)と思っております。また、この職業をベースに昭和58年6月家事調停委員として推薦していただいた方々、こうした方との出会いがあって、今日の栄誉に浴することができました。今後とも人との出会いを大切に精進したいと思っております」と、話しておられた。

2006年イベント・トピックス

2006年度「パソコン教室」開催

今年6年目を迎えたパソコン教室は、同窓会・後援会主催のもと、9月18日、23日、24日の3日間、本学50周年記念館(E館)で延べ550名の方が参加され行われた。今年のコースはインターネット、ワープロソフト、表計算、デジカメ・はがきの4コースに新設のブログコースを加えた充実した内容。



パソコン教室実行委員会(委員長 川楠誠)の学生25名から懇切丁寧な説明を受け、参加者一同楽しい一日を過ごした。この実行委員会の委員長を務めた川楠誠君(経営学部3回生)も「今回の一日体験が今後パソコンに親しんでいただく“きっかけ”になればありがたいと思います。テキストの制作や講義内容など、長い準備を重ねた甲斐があります」と、満足そう。今年も、親子連れや夫婦など多彩な顔ぶれが多数見られ、パソコン教室の人気のほどがうかがわれた。



福井支部40周年記念に本学を見学

福井支部は今年40周年の節目を迎えたのを機に、9月23日(土)、石橋支部長をはじめ一行22名がバスで本学を訪問、楽しい貴重なひと時を過ごされた。同窓会からは津秋副会長が挨拶、大学からは高塚事務局長が出席、校内施設をくまなく案内された。参加者一同、学生時代と現在の素晴らしい施設・環境の違いに驚きの眼で見入っておられた。中には学生時代の下宿先を訪問し、下宿先のおばさんと再会を果たし、感激の面持ちで帰ってこられた方もおられた。



民事調停委員としての尽力により藍綬褒章を受章

ZOOM UP KEIDAIJIN

正村 公一 氏 (27回卒)



昭和10年8月26日生まれ、滋賀県彦根市出身、71歳、滋賀県立彦根東高校を経て本学経済学部入学、昭和36年3月卒業と同時に家業の正木屋商店に入社、平成元年同社の14代目の社長に就任。家業の傍ら民事調停委員として活躍し、地域社会に貢献しておられる。

同窓会滋賀支部長の正村公一氏が平成17年秋の叙勲で藍綬褒章を受章されました。

この藍綬褒章は、公共の利益に貢献した人に贈られるもので、正村氏は昭和55年から大津地裁と彦根簡易裁判所の民事調停委員に就任、以来25年間にわたり不動産や交通事故などをめぐる問題や、離婚、多重債務、公害などに関する調停に尽力してきたことが認められ、今回の受章となったもの。

現在も滋賀県調停協会理事、同彦根支部長をつとめ、地域の難解な調停業務に注力しておられます。いまから27年前に父親の達治郎氏(当時75歳)も同じこの藍綬褒章を受章しており、「親子二世代にわたる栄誉で、私にとっても二重の喜び。これも周囲の人々の支えがあったからこそ受章できたもので、感謝の念でいっぱいです」と、受章の喜びを語っておられた。

学 歌

作詞 秋本吉郎
(元本学教授)
作曲 柴田南雄
(元東京芸術大学教授)

1.
大淀の 水は春ゆく
ゆたかな春だ
芽立つ葦原 緑が沁みる
この若さ
希望は明るい 蒼穹かけて
永遠の青春 みなぎる学園
大阪 大阪経済大学

2.
大樟の 蔭は裕々
夏風そよぐ
学徒師弟が 幹負いもちて
諸汗に
確かに植えた 融和の象徴
繁れ自由の 花さく学園
大阪 大阪経済大学

学園歌

作詞 黒正巖
(昭和商初代校長)
作曲 水野康孝
(元本学教授)

1.
商都の東北^{でんこう}瀬江に
臨みて高く聳り立つ
我等が昭和学園は
産業日本を双肩に
担うて進む若人の
力の糧の広野原

2.
一千余年の其の昔
大隅の宮の在りませし
聖^{とうと}き跡の学園は
忠孝日本を心肝に
銘して学ぶ若人の
教えの道の元標

3.
黒煙天をひた蔽い
船車どよもす八^{はちまた}衡を
静かに臨む学園は
科学日本の究明に
生命を注ぐ若人の
心の花の咲く園生

逍遙歌

作詞 中村行男
(16回卒)
作曲 松川圭一
(15回卒)

1.
此処 城北に迎えたる
紺碧^{こんぺき}淀の春の夢
惜春^ふの賦のただよえば
薫風静かに流れ来て
逝^ゆきし苦節の十余年
歴史は吾等に教うなり

2.
水や濁れる人の世に
真理求めて遊ぶ子の
友愛^{くおん}久遠に変わるまじ
汝が悲しみに我は泣き
吾が喜びに君や舞う
惜しみて励め我が青春を

3.
踏めば小草も柔き
弥生の庭に集い来し
我が学舎^{まなびや}の乙女子は
生命^{いのち}新たな此の曲に
花咲く野山花の下
声美しく歌うかな



でんこう
澱江
2006

■発行日 2006年12月20日
■編集 同窓会広報部
〒533-8533 大阪市東淀川区大隅2-2-8 電話 (06) 6328-2431
メール denko@osaka-ue.ac.jp URL http://www.osaka-ue-denko.com/
■印刷 凸版印刷株式会社
〒553-8580 大阪市福島区海老江3-22-61 電話 (06) 6454-3256